



2022

Report on Test
Takers Worldwide

TOEIC®

SPEAKING

&

WRITING
TESTS

目次

TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケート	3
2022 年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴	4
国・地域別 TOEIC® Speaking Test 平均スコア	5
TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計	7
性別	12
学歴	13
専攻科目	14
就業状況	15
業種	16
職種	19
英語学習期間	20
英語学習の際に最も重要視する言語技能	21
日常生活での英語使用率	22
最も使用する言語能力	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	24
英語圏滞在経験	25
英語圏滞在目的	26
TOEIC® Speaking Test の受験経験	27
TOEIC® Speaking Test の受験目的	28
2022 年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴	29
国・地域別 TOEIC® Writing Test 平均スコア	30
TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計	32
性別	37
学歴	38
専攻科目	39
就業状況	40
業種	41
職種	44
英語学習期間	45
英語学習の際に最も重要視する言語技能	46
日常生活での英語使用率	47

最も使用する言語能力	48
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	49
英語圏滞在経験	50
英語圏滞在目的	51
TOEIC® Writing Test の受験経験	52
TOEIC® Writing Test の受験目的	53
スピーキングスコアとライティングスコアの関連性	53
資料 A	54
TOEIC® バックグラウンドアンケート	54
資料 B1	56
2022 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率	56
資料 B2	57
2022 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各設問の回答率	57
資料 C	58
地域別スピーキング・ライティングスコアの相関値	58

TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケート

TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Speaking & Writing Tests（以下、TOEIC S&W）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、そして TOEIC S&W 受験歴についての情報を収集する自己記入式調査です。アンケートへの回答から、受験者のバックグラウンドや、受験者の TOEIC S&W のスコアと英語能力の向上に影響する要因がわかります。受験者は、TOEIC S&W を受ける前に、TOEIC S&W バックグラウンドアンケートに回答します。

TOEIC S&W バックグラウンドアンケートの設問は資料 A を参照してください。

本報告書は、2022 年に世界において全受験者が回答した TOEIC S&W のバックグラウンドアンケート結果に基づいています。

受験者の総数は国・地域によって異なりますのでご注意ください。また、回答率も質問項目によって異なり、スピーキング（資料 B1）とライティング（資料 B2）では回答率にかなりの違いがありました。このため、以下のデータに基づいた推測を行う際にはご注意ください。

受験者は、TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を同時に受けることも、どちらかのテストを単独で受けることもできます。本報告書は、異なる受験母集団に基づいてスピーキング、ライティングそれぞれの質問項目別にスコアに関する情報をまとめたものです。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（%）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100% を超える場合があります。また表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 50 以上のものに限定しています。

2022年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴

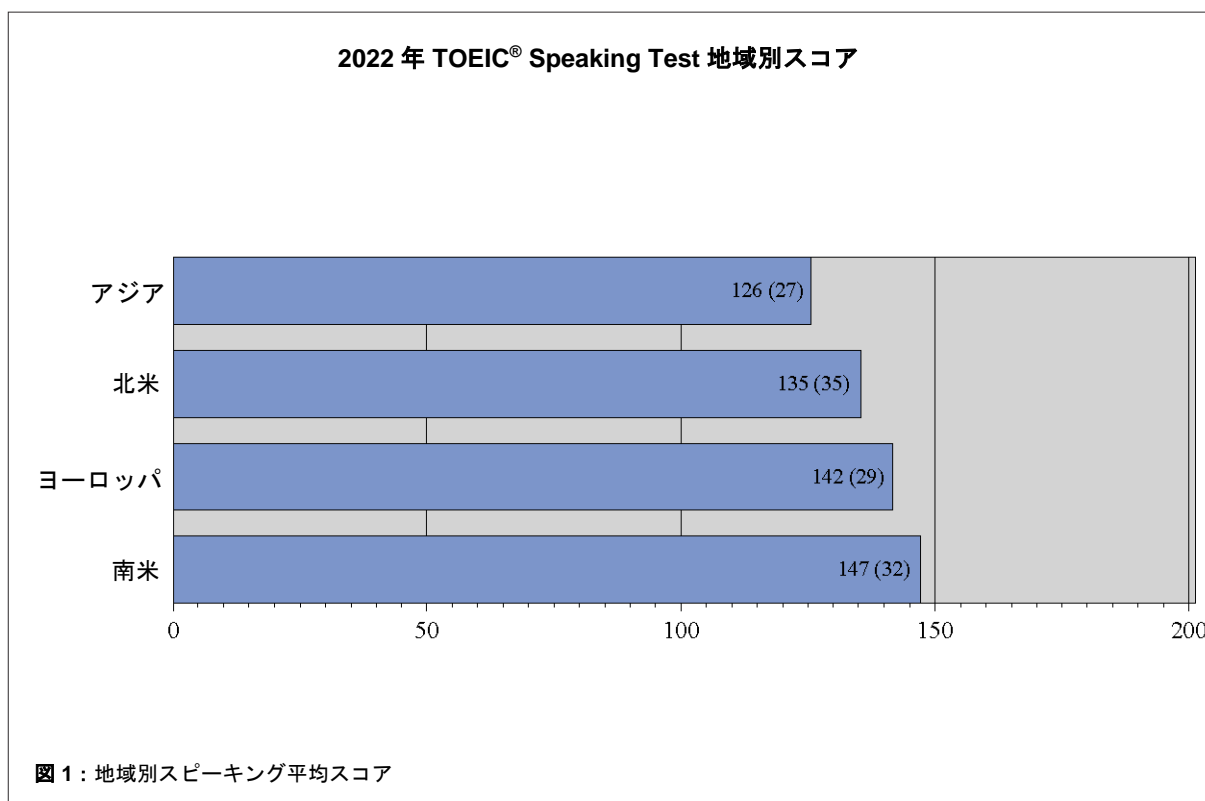
バックグラウンド情報は、公開テストまたは団体特別受験制度により 2022 年に TOEIC® Speaking Test を受けた受験者（TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を受けた受験者、TOEIC® Speaking Test のみ受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 性別は 56%が男性
- 学歴で最も多いのは大学卒または大学在学中（71%）
- 専攻で最も多いのは「工学」で 40%、「教養学」が 18%、「経営学」が 13%
- 46%が「フルタイム勤務者」で、33%は「全日制学生」
- 就業者の業種は 41%が「製造業」で、22%が「サービス業」
- 職種は 22%が「事務職」、15%が「技術者」、15%が「科学／技術職」
- 79%が 6 年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重視される技能としては、38%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、39%が「1~10%」と回答
- 最も頻繁に使用する英語技能としては、23%が「リーディング」を選択
- 46%は英語でのやりとりに「時々」苦勞すると回答
- 61%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、37%が「旅行のため」、26%が「英語学習プログラム参加のため」を選択
- 過去の受験経験は 41%が「なし」、25%が「3 回以上」
- 受験目的については、48%が「就職活動のため」、22%が「昇進・昇格のため」と回答

国・地域別 TOEIC® Speaking Test 平均スコア

以下の図 1 は、地域別の TOEIC® Speaking Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 1 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC® Speaking Test を受験した国・地域

は、受験者の母国と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC® Speaking Test 受験者が 50 名以上の国・地域のみ掲載されています。



*注：各チャートには受験者が 50 名以上の国・地域のみ反映されています。メキシコは北米に含まれます。

表 1 : TOEIC® Speaking Test 受験者の国・地域別平均スコア

国名	スピーキング	
	平均	(SD)*
アルゼンチン	154	(24)
ブラジル	146	(27)
チリ	148	(34)
中華人民共和国	118	(19)
コロンビア	139	(33)
コスタリカ	138	(32)
エルサルバドル	137	(27)
フランス	151	(27)
ドイツ	160	(28)
香港	96	(41)
イスラエル	168	(18)
イタリア	145	(24)
日本	113	(35)
韓国	128	(24)
メキシコ	145	(29)
オランダ	148	(26)
パナマ	124	(29)
フィリピン	158	(21)
サウジアラビア	48	(37)
シンガポール	124	(24)
スペイン	135	(28)
台湾	145	(22)
タイ	101	(36)
アラブ首長国連邦	135	(21)
米国	73	(54)
ベトナム	119	(28)

*SD=標準偏差

TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計

表 2 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Speaking Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC® Speaking Test の平均スコアを示しています。各カテゴリーの受験者の詳細な情報は表 2 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
性別	女性	44.3	133	(25)
	男性	55.7	125	(24)
学歴	小学校	2.0	115	(34)
	中学校	0.6	112	(38)
	高校	3.4	121	(33)
	高専	0.5	117	(33)
	専門学校	0.5	117	(32)
	短大	5.6	116	(30)
	大学	70.5	130	(23)
	大学院	12.8	130	(23)
	語学学校	4.1	127	(25)
専攻科目	教養学	18.2	134	(27)
	社会学	6.5	136	(25)
	経営学	13.2	133	(25)
	科学	7.2	128	(24)
	医療関連	2.8	131	(26)
	工学	40.2	124	(22)
	その他	11.8	125	(29)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	45.7	126 (26)
	パートタイム勤務者	5.4	129 (28)
	非就業者	16.4	132 (23)
	全日制学生	32.5	131 (25)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
業種	農業	3.5	116 (33)
	建設	3.3	122 (25)
	食品	1.6	123 (31)
	医薬品	1.6	129 (25)
	化学	4.0	126 (22)
	繊維	0.2	126 (27)
	石油	0.6	128 (22)
	金属	2.1	127 (25)
	機械	7.0	120 (23)
	電機	12.4	119 (22)
	自動車	3.8	124 (24)
	ガラス	0.1	117 (27)
	アパレル	0.9	128 (28)
	その他製造	6.4	120 (25)
	教育機関 (高校以下)	2.7	144 (25)
	教育機関 (大学以上)	1.7	145 (27)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
業種 (続き)	政府／役所／公益団体	1.1	136 (23)
	国際団体	0.3	139 (29)
	軍隊／自衛隊	1.9	131 (25)
	医療	2.0	131 (26)
	旅行	4.5	133 (26)
	その他サービス	8.0	131 (26)
	公共事業 (電気／ガス)	2.8	129 (22)
	マスコミ	0.9	139 (25)
	通信	4.2	122 (22)
	小売／卸し	0.9	129 (27)
	商社	2.4	132 (27)
	金融	2.8	135 (24)
	保険	0.4	131 (25)
	不動産	0.3	130 (27)
	運輸	1.4	132 (26)
	その他	13.8	125 (28)
職種	経営者	11.7	126 (29)
	科学／技術職	14.7	123 (23)
	教師／講師	4.4	144 (27)
	専門職	3.0	132 (26)
	技術者	15.2	119 (24)
	マーケティング／販売	7.3	129 (26)
	事務職	21.6	126 (26)
	サービス業	9.9	132 (25)
	その他	12.2	125 (28)
英語学習期間	4 年以下	11.2	116 (30)
	4 年超～6 年	9.5	123 (25)
	6 年超～10 年	22.2	126 (24)
	10 年超	57.0	133 (24)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリ別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング	8.1	123	(28)
	リーディング	4.7	127	(27)
	スピーキング	18.1	127	(24)
	ライティング	0.9	128	(29)
	リスニング&スピーキング	27.6	127	(24)
	リーディング&ライティング	2.5	132	(28)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	38.2	132	(25)
日常生活での英語使用率	なし	9.4	123	(28)
	1~10%	39.0	126	(25)
	11~20%	29.9	129	(24)
	21~50%	15.8	134	(25)
	51~100%	5.9	140	(27)
最も使用する英語技能	リスニング	12.3	127	(28)
	リーディング	23.3	128	(24)
	スピーキング	13.1	127	(25)
	ライティング	2.8	126	(28)
	リスニング&スピーキング	18.7	128	(25)
	リーディング&ライティング	10.5	130	(25)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	19.2	132	(25)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	7.4	134	(34)
	あまりない	14.8	136	(27)
	時々	46.4	130	(23)
	頻繁にある	21.6	124	(22)
	ほぼ常時	9.8	116	(25)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	スピーキング	
		平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	61.3	125 (25)
	6 カ月未満	22.8	129 (23)
	6 カ月～12 カ月	6.9	134 (24)
	1 年～2 年	3.4	142 (25)
	2 年超	5.5	147 (28)
英語圏滞在目的	進学のため	12.6	151 (25)
	英語学習プログラム参加のため	25.6	136 (22)
	旅行のため	37.3	129 (23)
	仕事のため	16.6	125 (25)
	その他	7.8	143 (28)
TOEIC S&W 受験回数	なし	40.7	130 (27)
	1 回	22.4	130 (24)
	2 回	11.7	129 (23)
	3 回以上	25.1	125 (23)
TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	48.0	131 (24)
	昇進・昇格のため	21.8	122 (25)
	英語学習プログラムの結果を測るため	5.2	130 (26)
	英語学習のため	12.4	131 (27)
	卒業に必要なため	12.5	128 (27)
	ビザ取得のため	0.0**	119 (45)

*SD=標準偏差

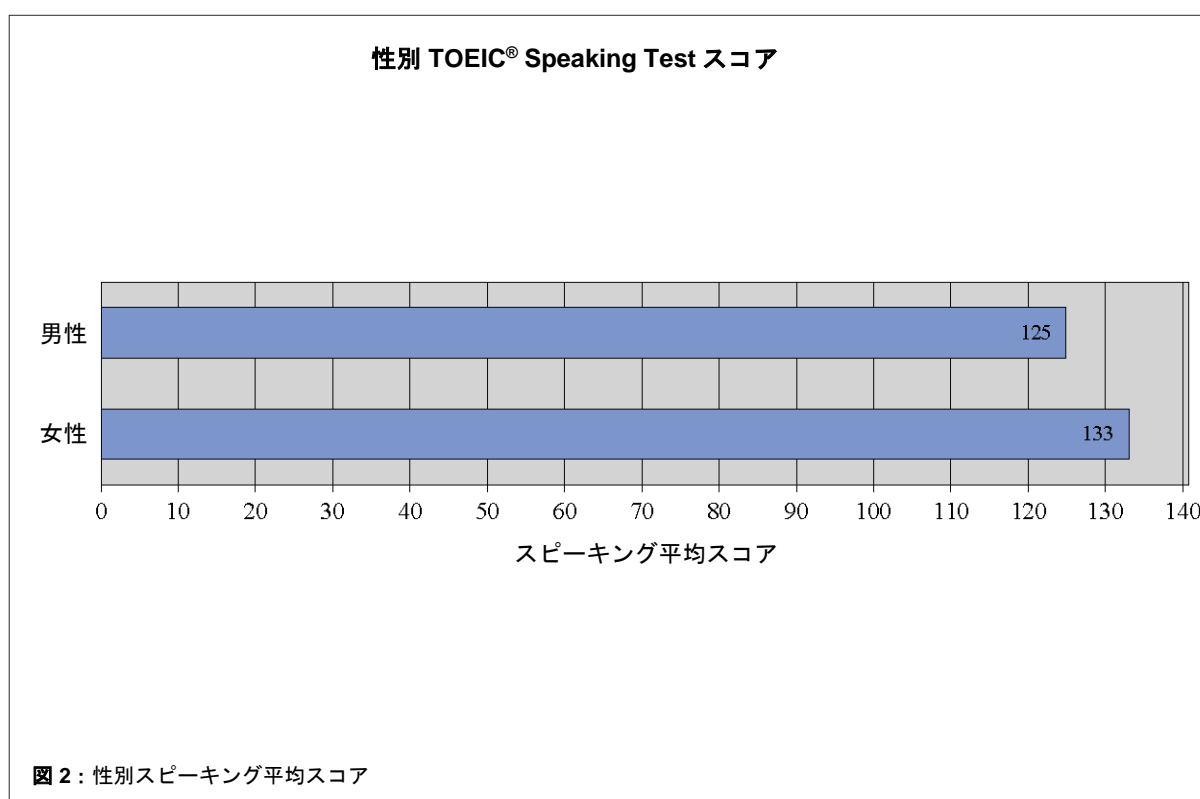
**注: 「ビザ取得のため」と答えた受験者の割合は、0.0492%を丸めた数値となっています。

性別

全体として、TOEIC® Speaking Test の受験者は男性の割合が高くなっています（図 2 参照）。男性受験者が多い国は、米国（87%）、中国（84%）、アルゼンチン（63%）、メキシコ（60%）、フィリピン（57%）、タイ（57%）、韓国（56%）、コロンビア（54%）、ブラジル（53%）、シンガポール（53%）、日本（52%）などです。

一部、女性の受験者割合が男性より高い国がありました。エルサルバドル（66%）、イスラエル（66%）、ベトナム（63%）、コスタリカ（61%）、パナマ（61%）がその例です。

図 2 が示すように、TOEIC® Speaking Test の平均スコアでは女性が男性を上回りました。

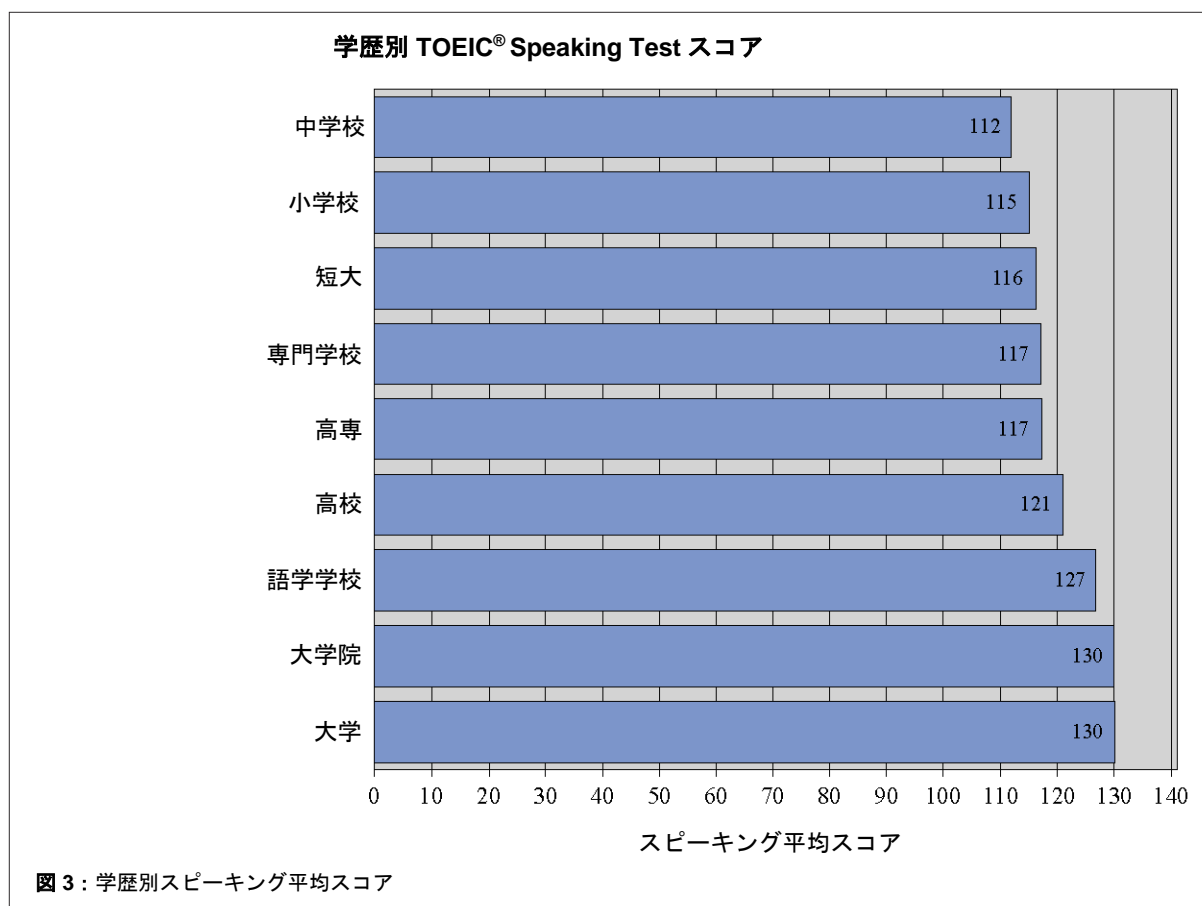


学歴

受験者の大半の最終学歴は、バックグラウンドアンケート回答時点で大学卒（学士取得）または大学在学中となっています（71%）。大学卒または大学在学中の受験者の割合は、女性（70%）と男性（71%）でほぼ同率です。大学院卒または大学院在学中の受験者の割合は、女性（10%）よりも男性（15%）の方がやや高い結果となりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に国・地域別で比較すること

はできませんが、大学卒または大学在学中の受験者の割合が特に高い国としては、アラブ首長国連邦（76%）、フィリピン（75%）、韓国（74%）、日本（61%）が挙げられます。これに対し、大学院卒または大学院在学中の受験者の割合が最も高い国はフランス（49%）です。小学校卒の受験者の割合が特に高い国は、サウジアラビア（76%）、エルサルバドル（72%）となっています。

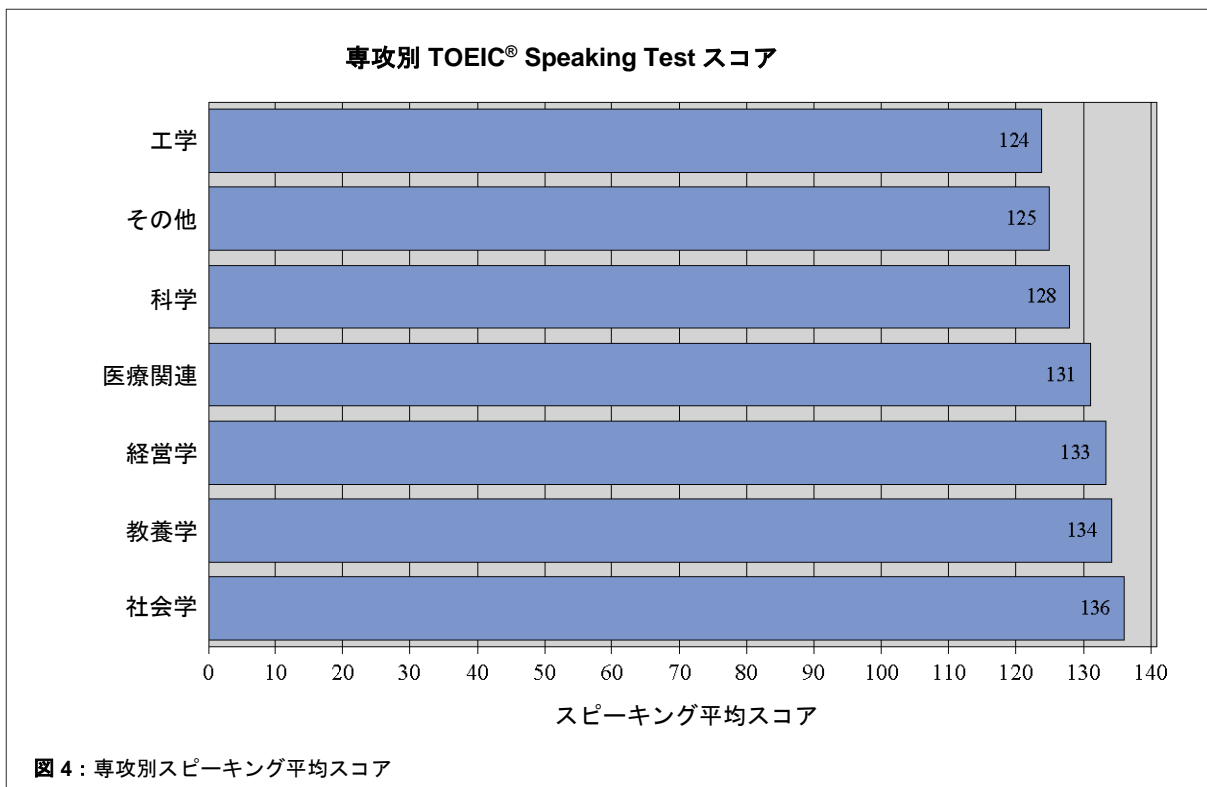


専攻科目

受験者の専攻科目で最大の割合を占めたのは「工学」（40%）です。「工学」専攻の受験者の割合が特に高い国は、アラブ首長国連邦（64%）、中国（45%）、韓国（45%）となっています。2番目に多い専攻科目は「教養学」（18%）、3番目に多いのは「経営学」（13%）でした。「教養学」専攻の受験者の割合が特に高い国は、サウジアラビア（80%）、エルサルバドル（71%）、ベトナム（55%）、パナマ（47%）です。

「経営学」専攻の受験者の割合が高い国は、チリ（50%）、ドイツ（33%）、オランダ（33%）などでした。

全体で見ると、「教養学」専攻の受験者の割合は男性（9%）よりも女性（29%）、「工学」専攻の割合は女性（20%）よりも男性（57%）の方が高くなっています。

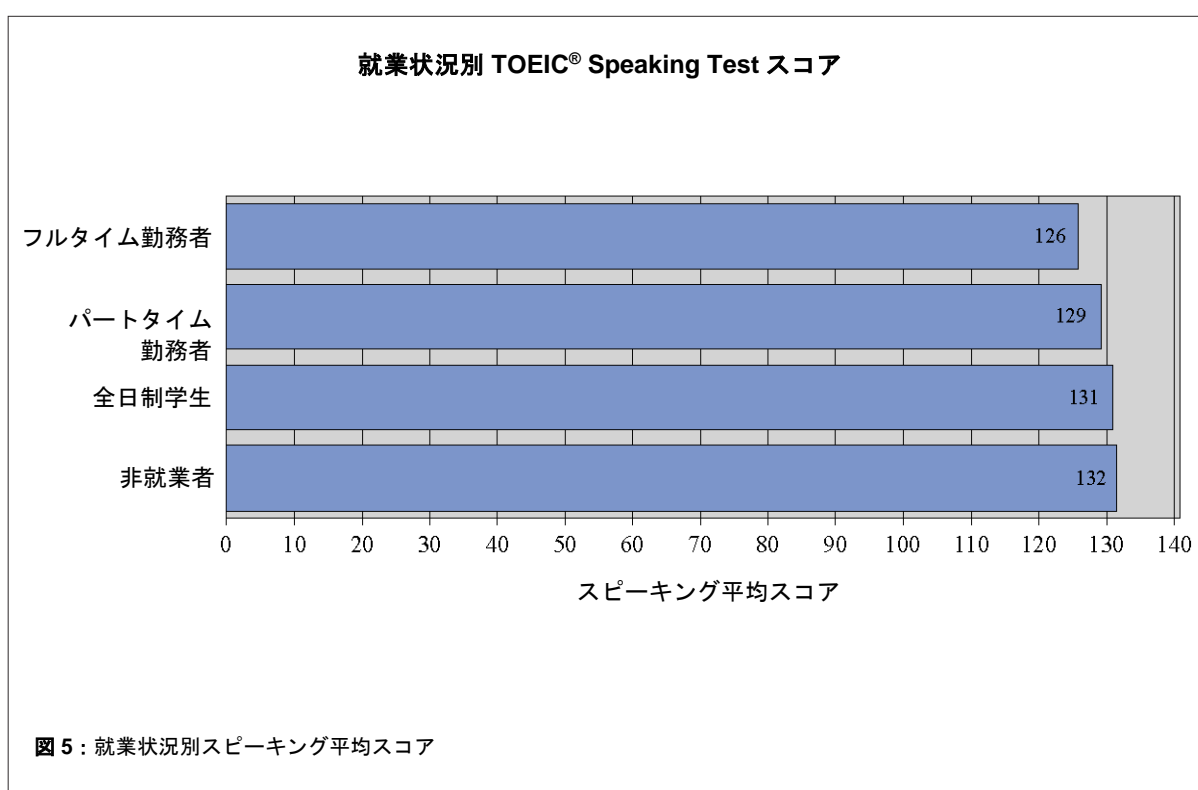


就業状況

全体として、TOEIC® Speaking Test の受験者の多くは「フルタイム勤務者」（46%）または「全日制学生」（33%）でした。「フルタイム勤務者」の割合が高い国としては、アラブ首長国連邦（99%）、中国（95%）、サウジアラビア（95%）、メキシコ（90%）、タイ（88%）、米国（81%）、ベトナム（71%）、エルサルバドル（70%）、ブラジル（68%）、

日本（62%）、韓国（42%）などが挙げられます。「全日制学生」の割合が最大の割合を占める国は、シンガポール（83%）とフィリピン（80%）です。

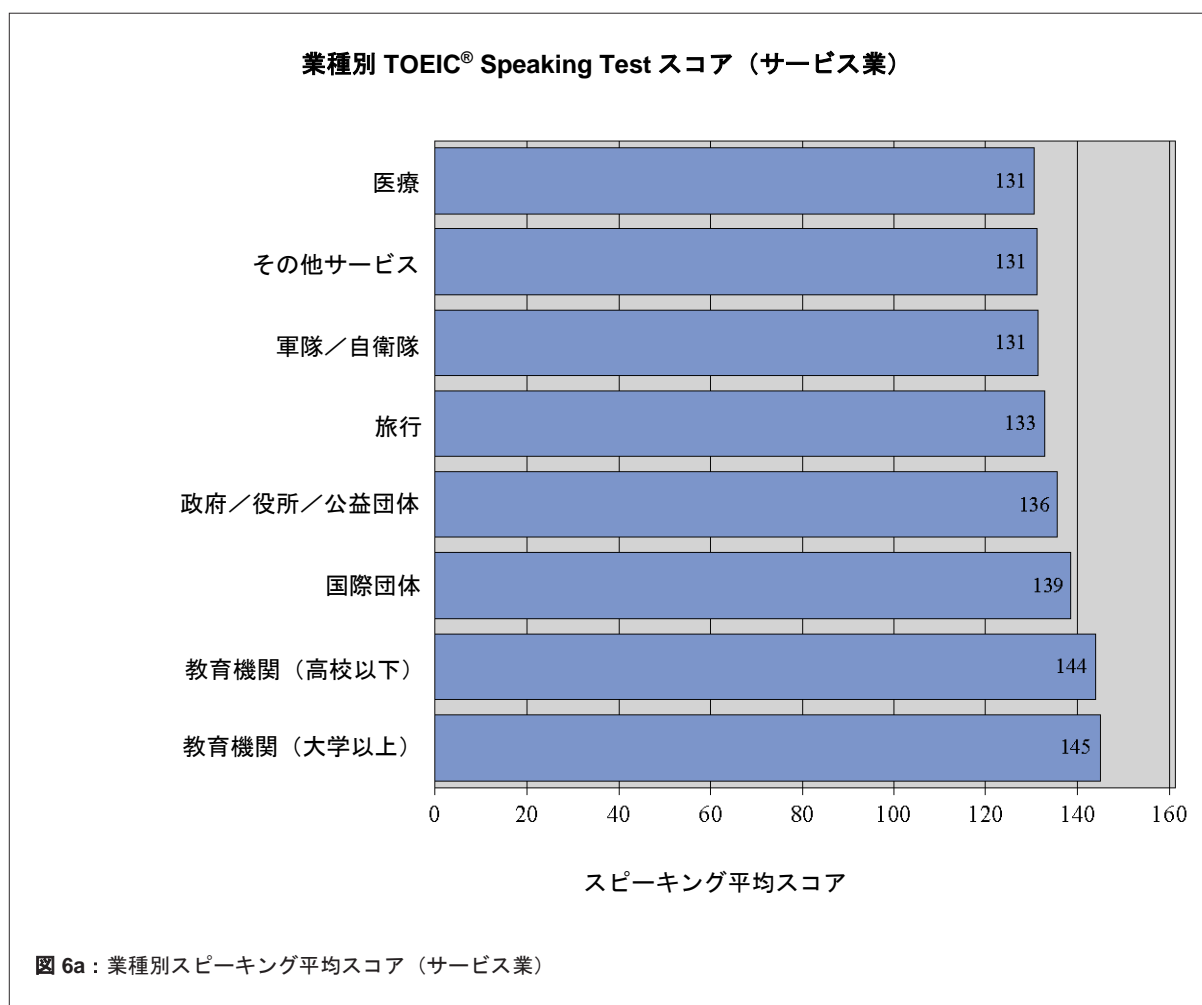
「フルタイム勤務者」の割合は女性（37%）よりも男性（52%）、「全日制学生」の割合は男性（30%）よりも女性（36%）の方が高くなっています。



業種

表 2に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図 6a（サービス業）、図 6b（製造業）および図 6c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® Speaking Test の平均スコアを業種別に表したものです。



業種別 TOEIC® Speaking Test スコア（製造業）

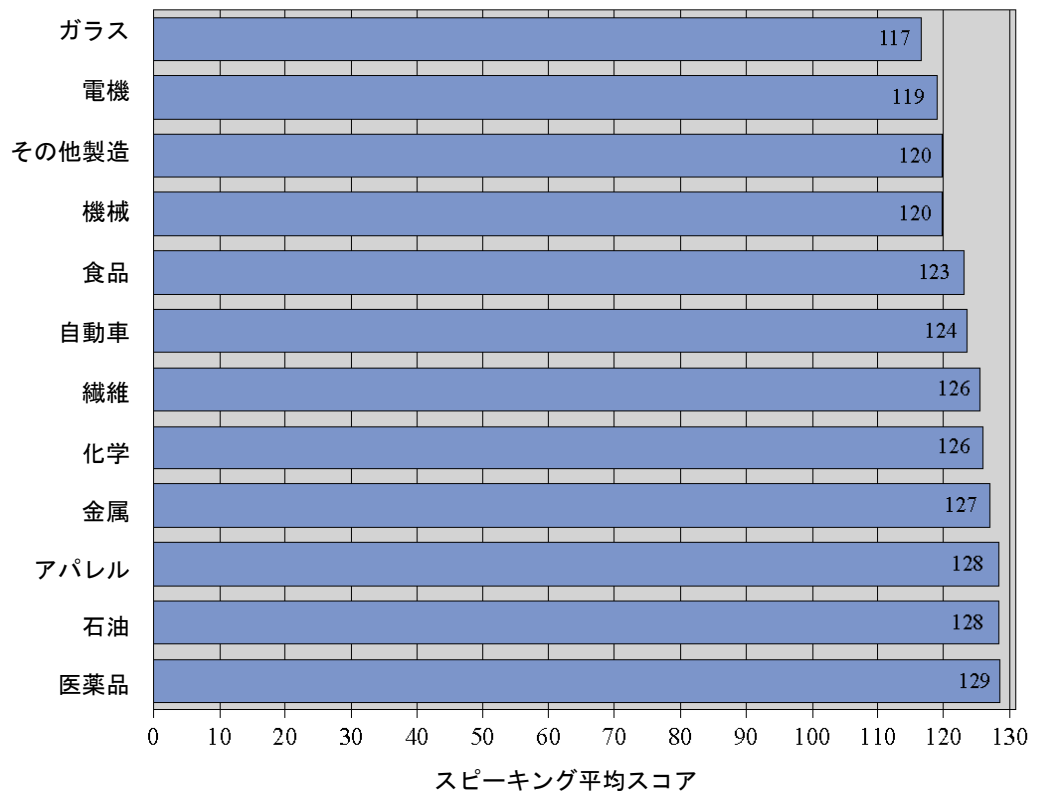


図 6b : 業種別スピーキング平均スコア（製造業）

業種別 TOEIC® Speaking Test スコア（その他）

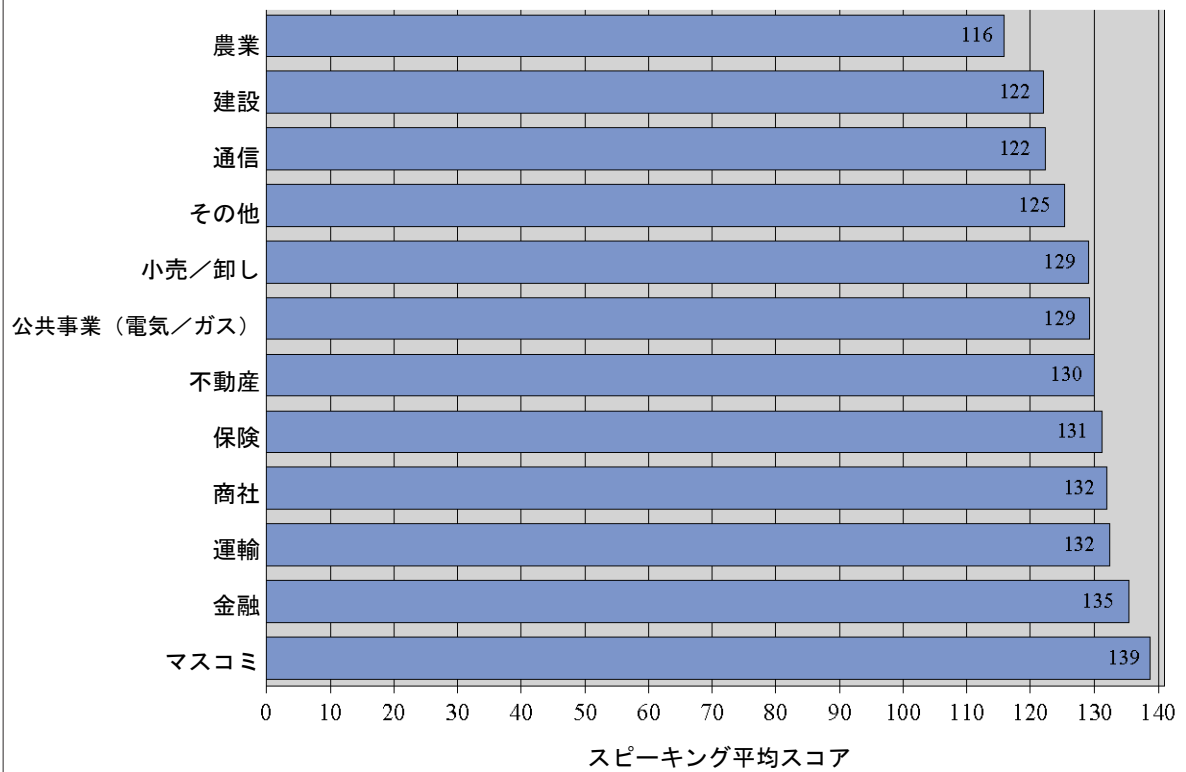


図 6c : 業種別スピーキング平均スコア（その他）

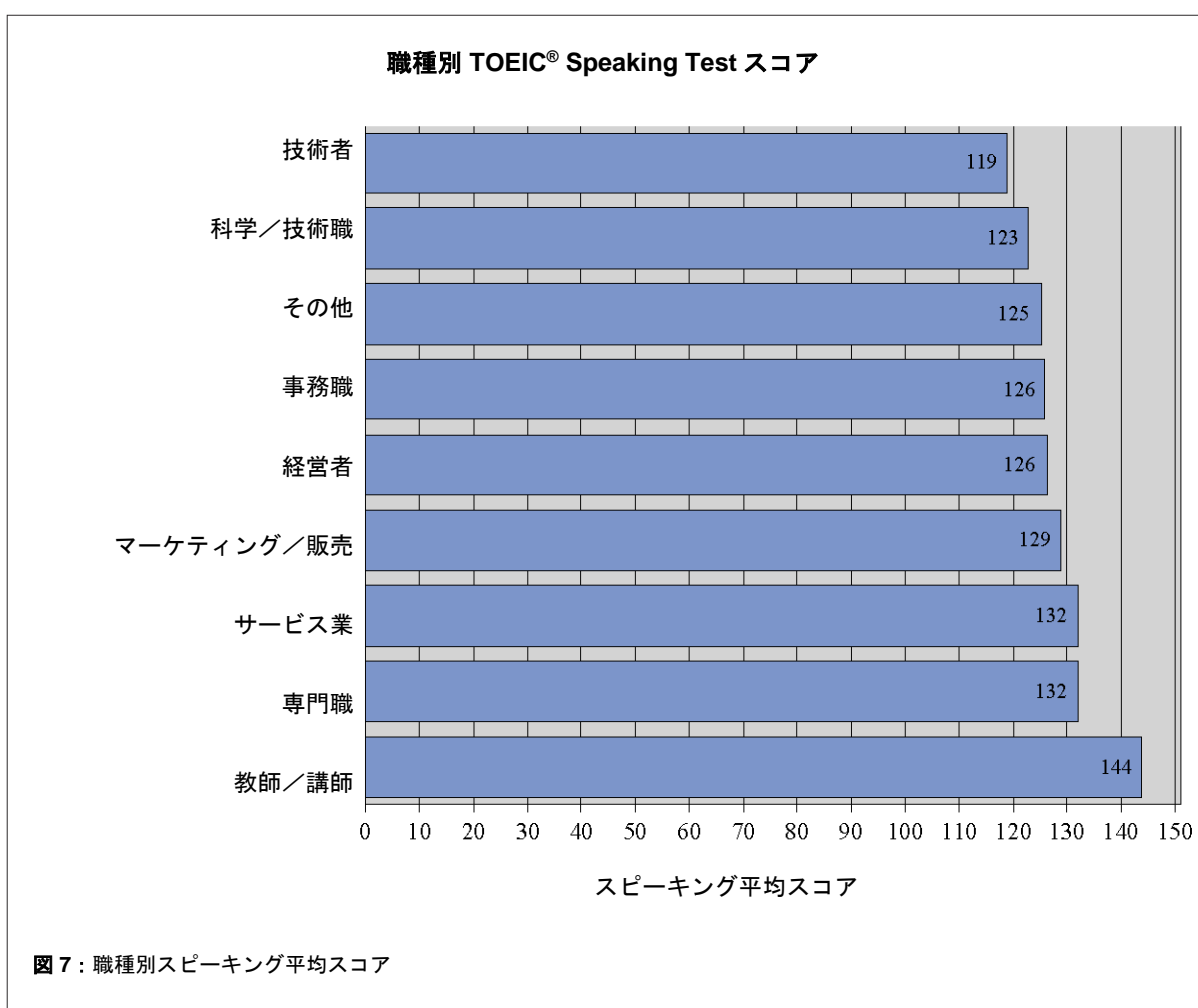
職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。受験者全体では「事務職」が最大の割合を占めました（22%）。

「事務職」に従事する受験者の割合が最も高い国は韓国（27%）です。「経営者」が受験者のほとんどを占めるのは、エルサルバドル（99%）、パナマ（99%）、サウジアラビア（96%）です。イスラエルでは、受験者の多く

が「教師／講師」に従事しています（93%）。

全体で見ると、「サービス職」に従事する受験者の割合は、男性（4%）よりも女性（19%）の方が高くなっています。「技術者」の割合は女性（5%）よりも男性（22%）、「科学／技術職」の割合は女性（9%）よりも男性（19%）の方が高い結果となりました。



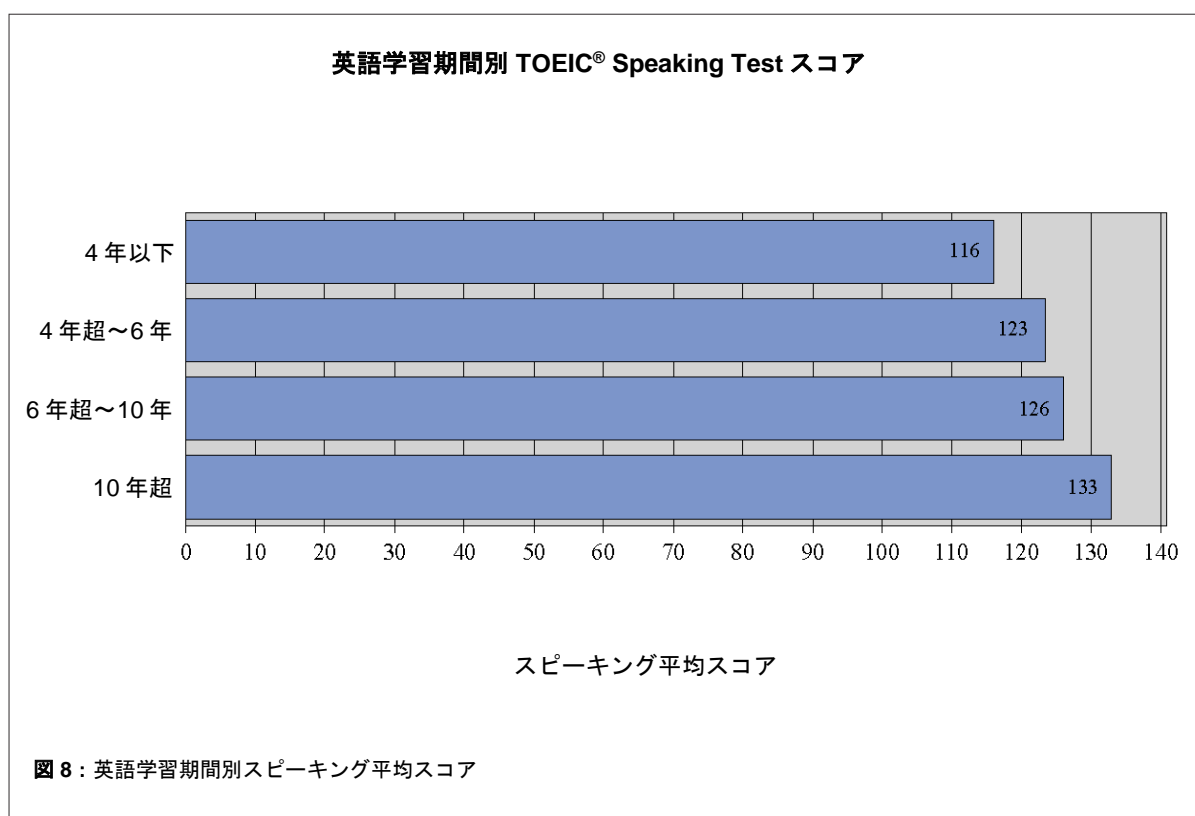
英語学習期間

2022年の受験者全体の79%は、6年を超える英語学習経験があると答えています。

英語学習期間が「4年以下」の受験者が多数を占める国は、エルサルバドル（98%）、パナマ（95%）、サウジアラビア（95%）です。一方、英語学習期間が「10年超」の受験者が多い

国・地域は、台湾（67%）、日本（61%）、フィリピン（60%）、韓国（60%）となっています。

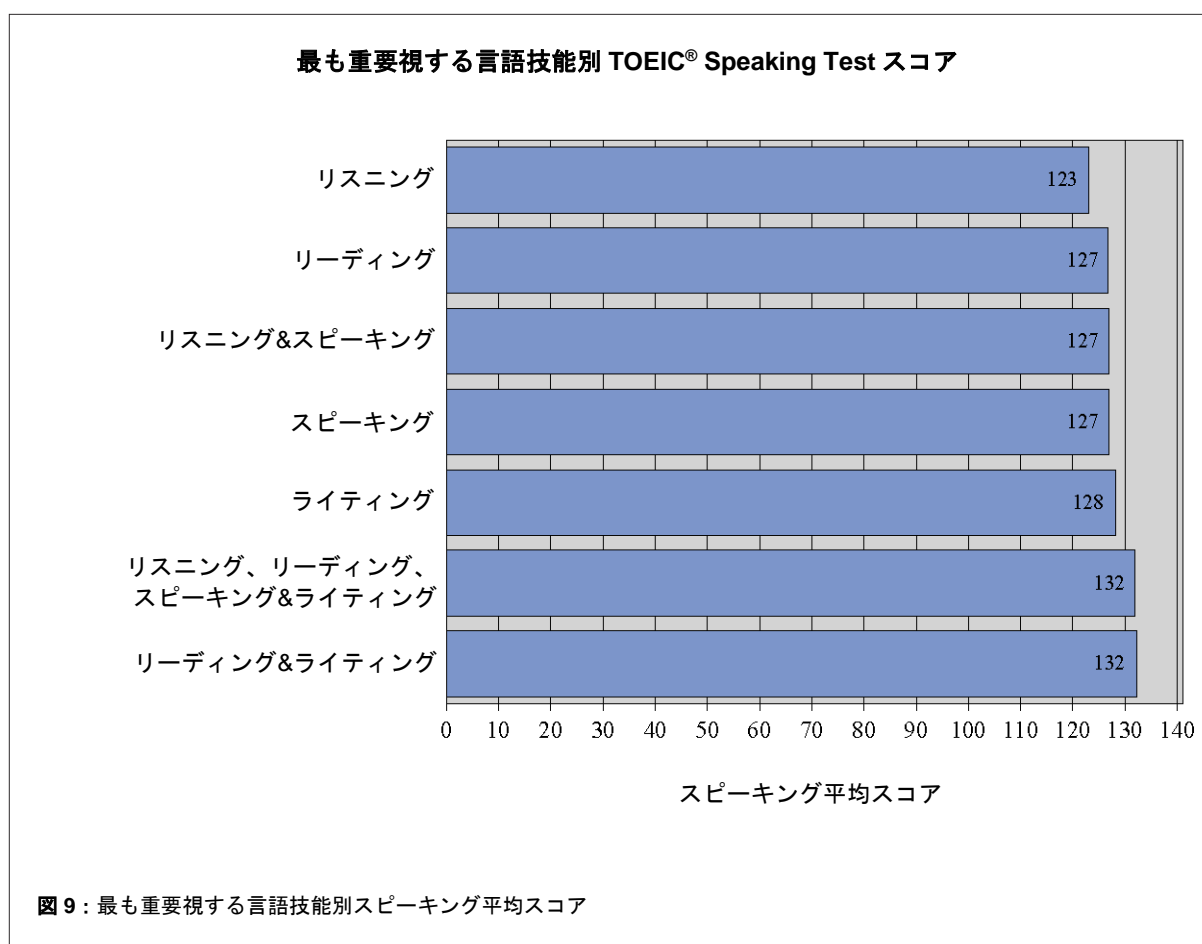
全体で見ると、10年超の英語学習経験がある受験者の割合は、男性（54%）よりも女性（61%）の方が高い結果となりました。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

全体として、受験者の38%が学習の際に英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重視すると回答しています。28%の受験者は「リスニング&スピーキング」を最も重視すると回答しました。

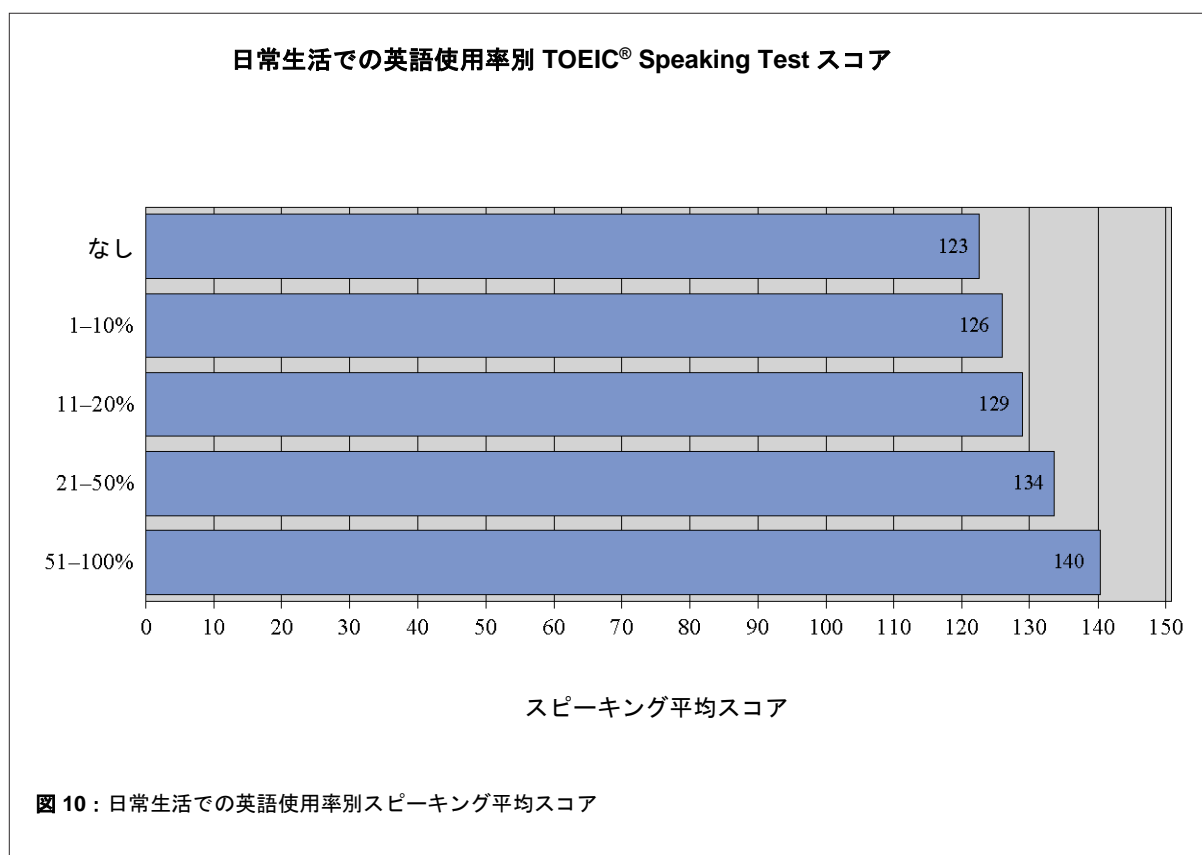
4技能すべてを重視すると答えた受験者が多い国・地域としては、イスラエル（46%）、韓国（41%）、台湾（38%）、パナマ（37%）、チリ（36%）、フィリピン（34%）が挙げられます。一方、「リスニング」のみを重視すると回答した受験者が大部分を占めるのは、サウジアラビア（90%）、エルサルバドル（72%）、ベトナム（64%）です。



日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の39%が「1~10%」と回答しました。このように回答した受験者が多い国としては、シンガポール（48%）、日本（41%）、韓国（41%）、フランス（40%）などが挙げられます。

日常的に英語をまったく使用しないと答えた受験者が多い国は、サウジアラビア（88%）、エルサルバドル（72%）、ベトナム（55%）となっています。

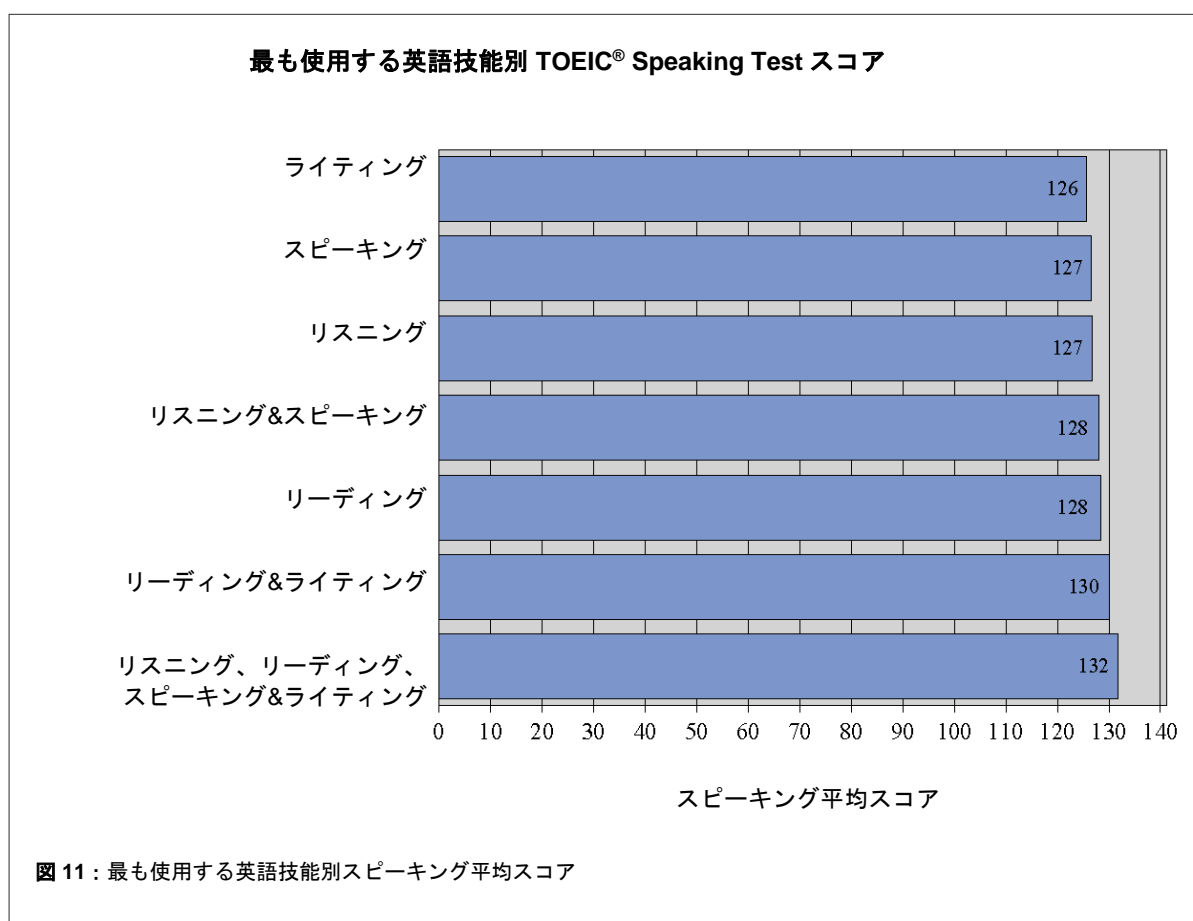


最も使用する言語能力

受験者全体の19%は、最も使用する英語技能として「リスニング&スピーキング」を挙げました。4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）と答えた受験者の割合は19%、「リーディング」は23%となっています。「リスニング&スピーキング」という回答が最も多い国・地域は米国（27%）、「リスニング」が多いのはサウジアラビア（92%）、エルサルバドル（80%）、ベトナム

（64%）、パナマ（53%）、日本（36%）、「リーディング」が多いのは台湾（34%）、中国（31%）、スペイン（31%）という結果になりました。

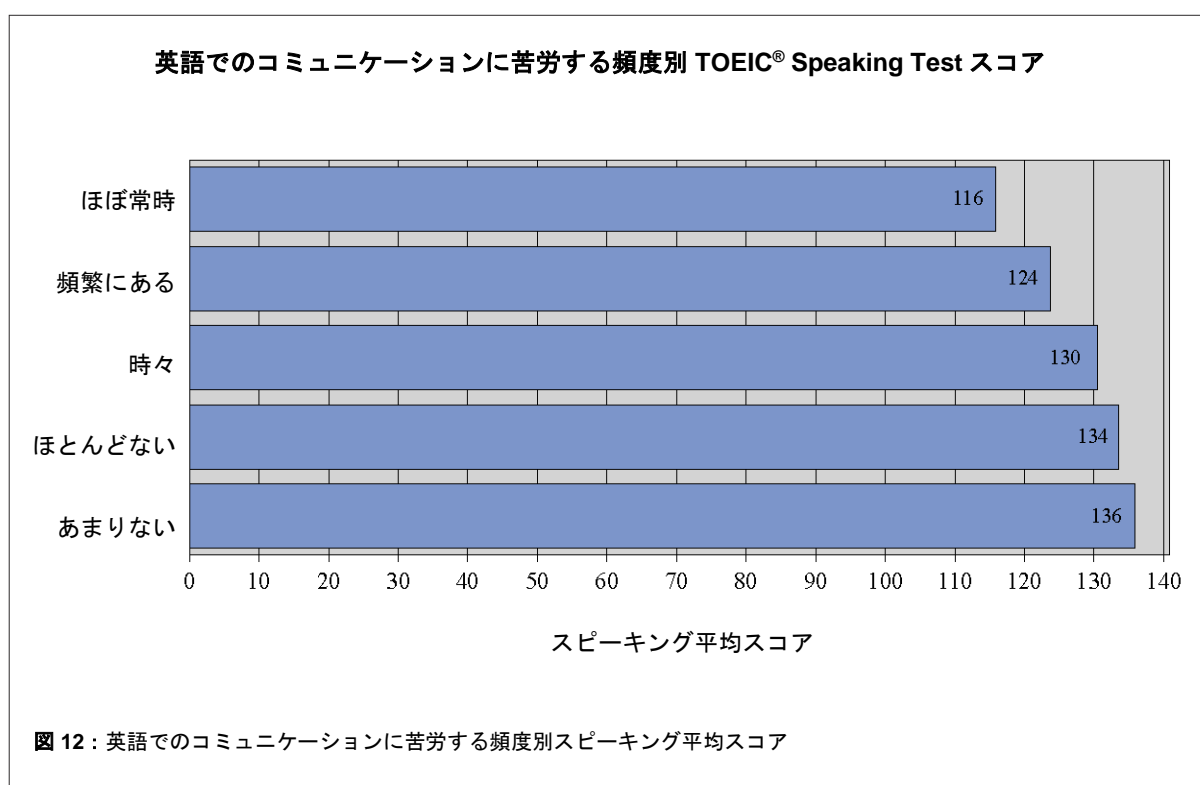
「リスニング&スピーキング」の2技能を挙げた受験者の割合は、男性（17%）よりも女性（21%）の方が高くなっています。



英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の46%が「時々」、22%が「頻繁にある」、15%が「あまりない」と答えました。

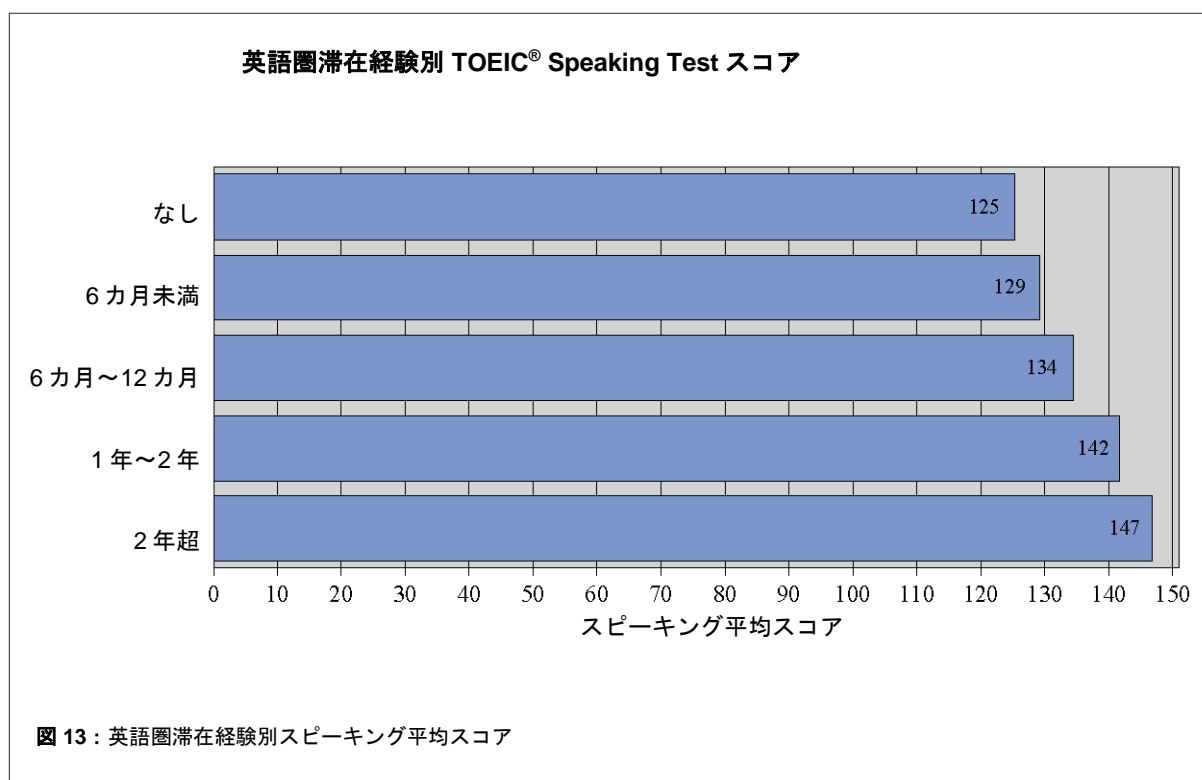
「ほとんどない」という回答が大部分を占めた国は、サウジアラビア（95%）、エルサルバドル（74%）、イスラエル（69%）、ベトナム（58%）です。



英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国に滞在したことがありますか」という質問に対しては、受験者全体の約 16%が 6 カ月以上の滞在経験があると答え、61%は滞在経験がないと答えています。

英語圏に滞在した経験がないと答えた受験者が大半を占める国は、エルサルバドル（100%）、パナマ（99%）、サウジアラビア（97%）、ベトナム（96%）、アルゼンチン（92%）、フィリピン（91%）です。2 年超の滞在経験があると答えた受験者が特に多い国は、米国（55%）、シンガポール（48%）などです。



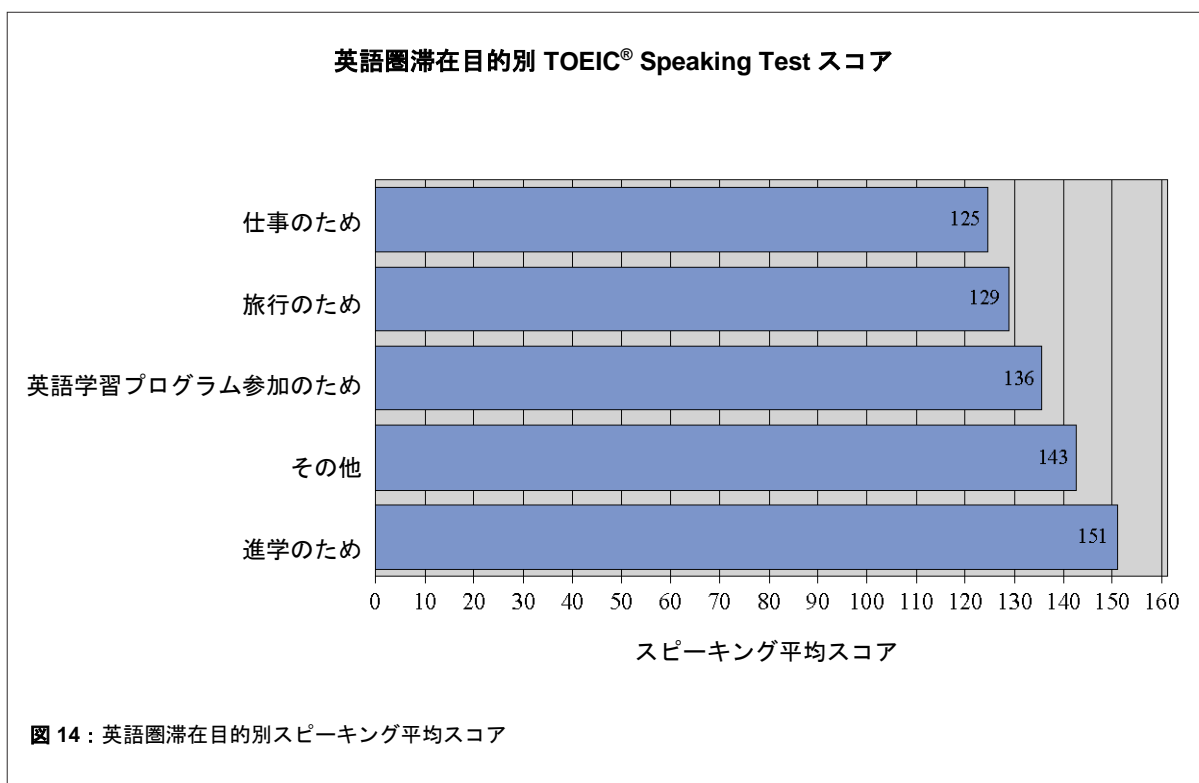
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、受験者全体の37%が「旅行のため」、26%が「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

受験者の多くが「仕事のため」と答えた国は、サウジアラビア（100%）、中国（79%）、米国（71%）、アラブ首長国連邦（65%）です。「進学のため」という回答が多いのは、パナマ（67%）、シンガポール（45%）、ベトナム

（45%）、「旅行のため」という回答が多いのは、フィリピン（49%）、韓国（41%）となっています。

全体で見ると、「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は男性（21%）よりも女性（31%）、「仕事のため」の割合は女性（8%）よりも男性（23%）の方が高くなっています。

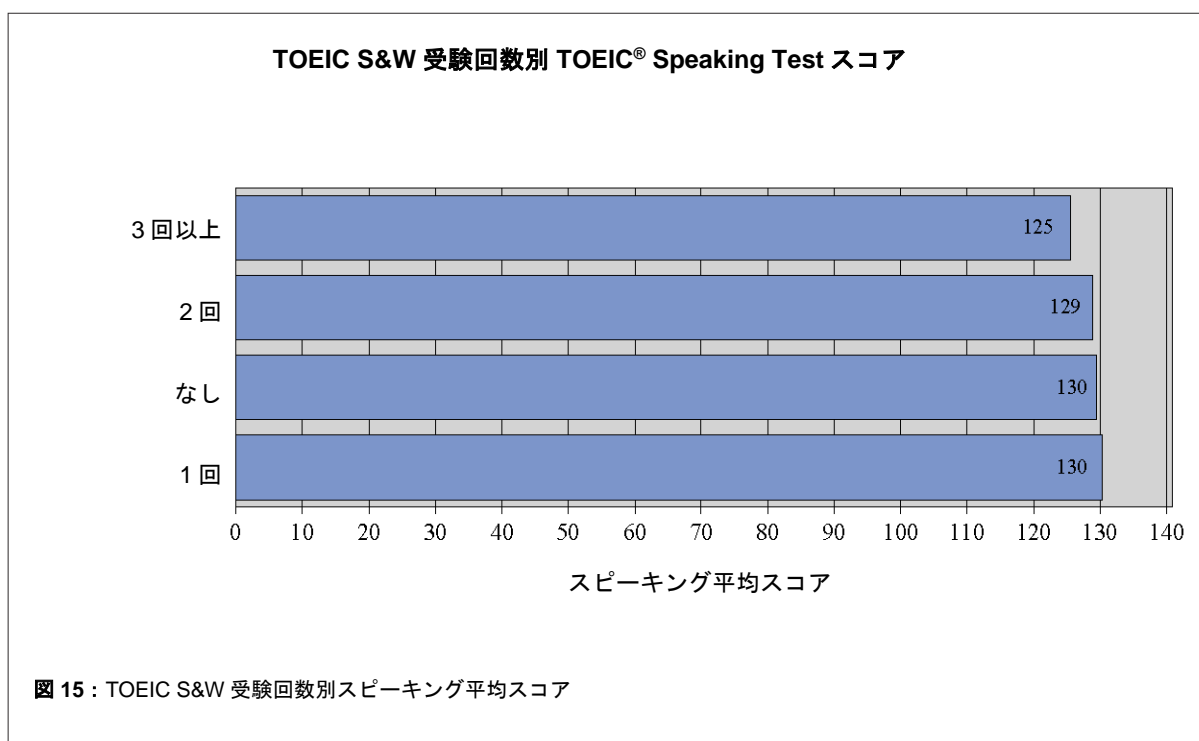


TOEIC® Speaking Test の受験経験

全体としては、受験者の59%が過去にもTOEIC® Speaking Testを受験した経験があり、およそ25%が「3回以上」受験しています。

TOEIC® Speaking Test 受験経験者の割合については、下はエルサルバドル（0.4%）から上は中国（84%）まで、国によって大きく差が出ました。

全体で見ると、TOEIC® Speaking Testの受験経験がないと答えた受験者の割合は、男性（37%）よりも女性（45%）の方が高くなりました。これに対して、過去に「3回以上」受験したことがあると答えた受験者の割合は、女性（19%）よりも男性（30%）の方が高くなっています。



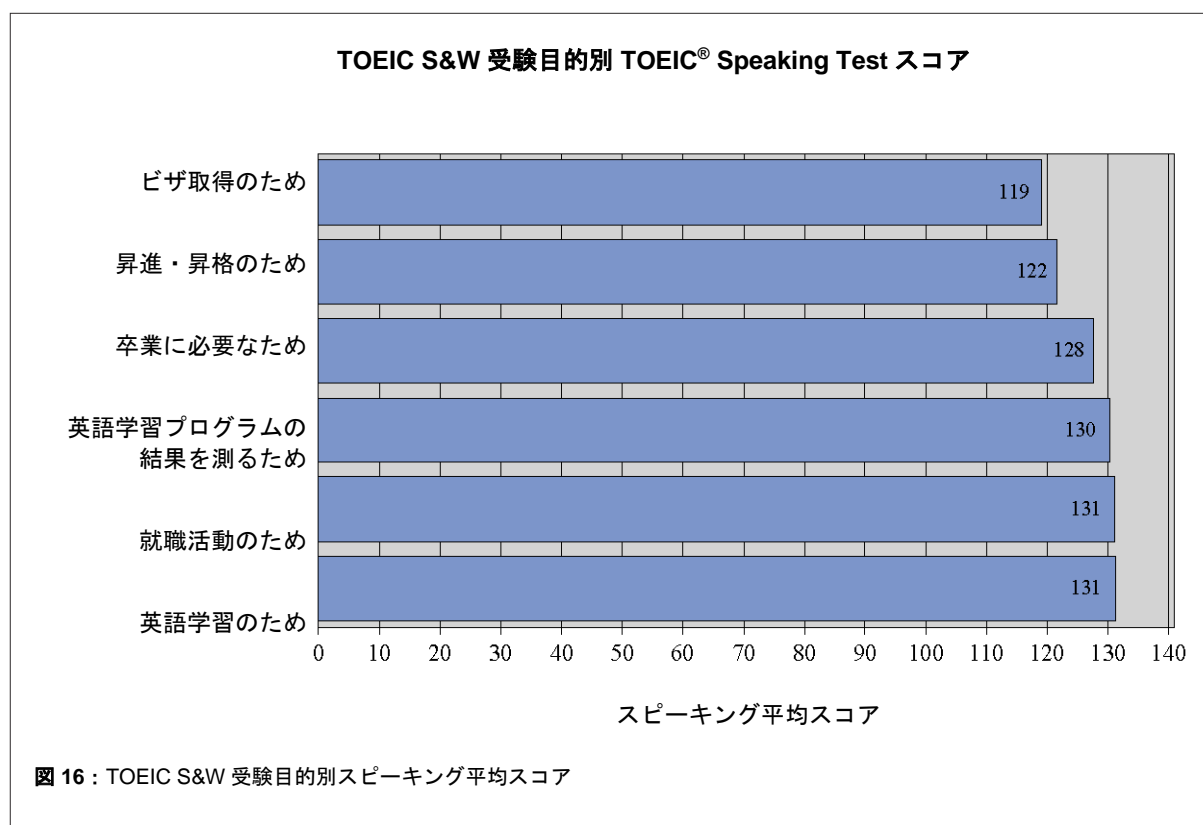
TOEIC® Speaking Test の受験目的

TOEIC® Speaking Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」(48%)と「昇進・昇格のため」(22%)です。

「就職活動のため」と答えた受験者が大部分を占める国としては、サウジアラビア(95%)、エルサルバドル(72%)、ブラジル(67%)、ベトナム(66%)、韓国(51%)が挙げられます。受験者の大半が「昇進・昇格のため」と答えたのは、タイ(58%)とメキシコ(44%)で

す。「英語学習のため」という回答が多い国は日本(52%)とシンガポール(43%)、「卒業に必要なため」が多い国はフィリピン(66%)、コロンビア(42%)となりました。

「就職活動のため」という回答の割合は男性(43%)よりも女性(55%)、「昇進・昇格のため」の割合は女性(15%)よりも男性(27%)の方が高くなっています。



2022年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴

バックグラウンド情報は、公開テストまたは団体特別受験制度により2022年のTOEIC® Writing Testを受けた受験者（TOEIC® Speaking TestとTOEIC® Writing Testの両方を受けた受験者、TOEIC® Writing Testのみを受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかるTOEIC® Writing Test受験者の特徴です。受験者の回答率は質問項目によって異なりますのでご注意ください。

- 性別は48%が男性
- 学歴（最終学歴または受験時在学）で最も多いのは大学卒または大学在学中（50%）
- 専攻で最も多いのは「教養学」で34%、「工学」が13%、「経営学」が17%
- 54%が「フルタイム勤務者」で、29%は「全日制学生」
- 就業者の業種は32%が「サービス業」で、21%が「製造業」
- 職種は23%が「経営者」、12%が「事務職」、15%が「科学／技術職」
- 68%が6年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重視される技能としては、30%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、30%が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、30%が「リスニング」を、22%が「リーディング」を選択
- 39%は英語でのやりとりに「時々」苦勞すると回答
- 66%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、48%が「進学のため」または「語学プログラム参加のため」を選択
- 過去の受験経験は69%が「なし」
- 受験目的については、31%が「就職活動のため」、26%が「英語学習のため」、22%が「卒業に必要なため」と回答

国・地域別 TOEIC® Writing Test 平均スコア

以下の図 17 は、地域別の TOEIC® Writing Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 3 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC® Writing Test を受験した国・地域

は、受験者の母国と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC® Writing Test 受験者が 50 名以上の国・地域のみ掲載されています。

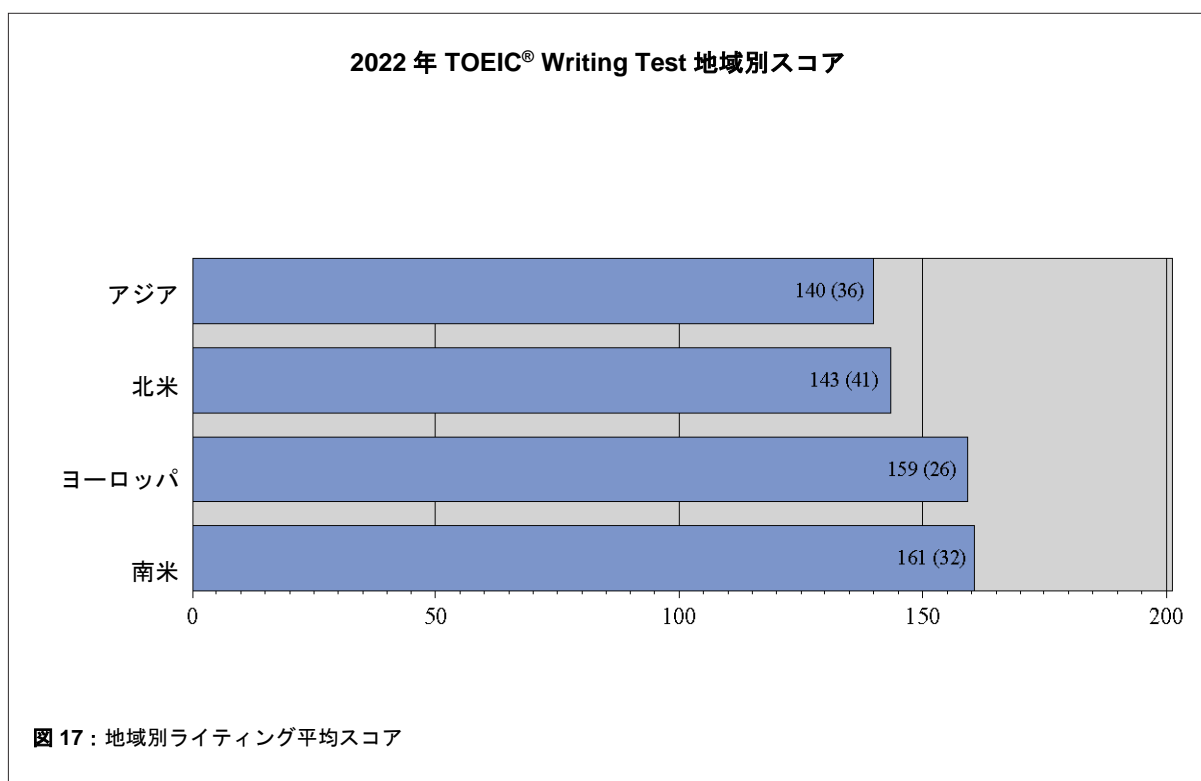


表 3 : TOEIC® Writing Test 受験者の国・地域別平均スコア

国名	ライティング	
	平均	(SD)*
アルゼンチン	167	(27)
ブラジル	157	(26)
チリ	162	(32)
中華人民共和国	149	(27)
コロンビア	151	(39)
コスタリカ	143	(42)
エルサルバドル	153	(24)
フランス	164	(28)
ドイツ	168	(25)
香港	113	(49)
イスラエル	177	(19)
イタリア	157	(23)
日本	132	(37)
韓国	148	(30)
メキシコ	158	(26)
オランダ	162	(23)
パナマ	142	(31)
フィリピン	172	(21)
サウジアラビア	39	(41)
シンガポール	137	(26)
スペイン	156	(27)
台湾	157	(22)
米国	79	(56)
ベトナム	151	(26)

*SD=標準偏差

TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計

表 4 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Writing Test 受験者の人数割合 (%) と TOEIC® Writing Test の平均スコアを示しています。各カテゴリーの TOEIC® Writing Test 受験者に関する詳細な情報は表 4 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーはバックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
性別	女性	51.6	150	(32)
	男性	48.4	150	(30)
学歴	小学校	11.0	138	(40)
	中学校	2.4	117	(46)
	高校	9.7	134	(37)
	高専	1.1	126	(43)
	専門学校	1.8	135	(35)
	短大	5.0	137	(31)
	大学	50.3	152	(27)
	大学院	17.6	158	(23)
	語学学校	1.2	142	(41)
専攻科目	教養学	33.8	149	(32)
	社会学	9.4	153	(28)
	経営学	16.6	151	(30)
	科学	9.7	149	(28)
	医療関連	4.8	147	(32)
	工学	13.2	146	(27)
	その他	12.5	137	(39)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	53.8	149	(31)
	パートタイム勤務者	7.7	150	(37)
	非就業者	9.7	152	(33)
	全日制学生	28.8	153	(31)
業種	農業	15.5	141	(37)
	建設	1.6	141	(37)
	食品	1.7	138	(39)
	医薬品	1.6	150	(26)
	化学	1.5	144	(29)
	繊維**			
	石油	1.0	155	(18)
	金属	1.0	139	(31)
	機械	2.4	143	(30)
	電機	4.4	146	(28)
	自動車	3.2	151	(25)
	ガラス**			
	アパレル	2.2	139	(36)
	その他製造	1.9	143	(35)
	教育機関 (高校以下)	6.6	159	(25)
	教育機関 (大学以上)	4.4	167	(26)

*SD=標準偏差

**注: サンプル数が少ないため、業種「繊維」および「ガラス」の受験者数についてはデータが得られませんでした。

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
業種 (続き)	政府／役所／公益団体	2.7	155 (24)
	国際団体	0.6	163 (28)
	軍隊／自衛隊	2.4	151 (29)
	医療	3.3	150 (29)
	旅行	2.0	148 (34)
	その他サービス	9.7	151 (29)
	公共事業 (電気／ガス)	1.6	151 (24)
	マスコミ	0.9	159 (27)
	通信	2.4	151 (28)
	小売／卸し	1.3	146 (32)
	商社	3.2	143 (29)
	金融	5.2	155 (27)
	保険	0.8	150 (31)
	不動産	0.6	149 (27)
	運輸	2.8	150 (27)
	その他	11.0	149 (34)
職種	経営者	23.1	145 (35)
	科学／技術職	14.5	150 (27)
	教師／講師	12.3	161 (26)
	専門職	8.3	154 (27)
	技術者	4.7	141 (30)
	マーケティング／販売	8.5	148 (30)
	事務職	11.5	146 (31)
	サービス業	7.8	149 (32)
	その他	9.4	144 (37)
英語学習期間	4年以下	21.5	136 (39)
	4年超～6年	10.1	143 (33)
	6年超～10年	18.6	151 (28)
	10年超	49.8	159 (25)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
最も重視する言語技能	リスニング	22.5	145	(33)
	リーディング	12.1	151	(30)
	スピーキング	13.2	146	(32)
	ライティング	3.0	151	(32)
	リスニング&スピーキング	12.5	149	(30)
	リーディング&ライティング	6.6	161	(27)
	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	30.1	156	(29)
日常生活での英語 使用率	なし	17.6	141	(35)
	1~10%	30.3	147	(31)
	11~20%	24.1	152	(29)
	21~50%	19.0	158	(27)
	51~100%	8.9	166	(25)
最も使用する英語技能	リスニング	30.0	148	(32)
	リーディング	21.6	153	(28)
	スピーキング	10.2	147	(34)
	ライティング	4.8	151	(31)
	リスニング&スピーキング	9.5	150	(33)
	リーディング&ライティング	9.1	156	(27)
	リスニング、リーディング、 スピーキング&ライティング	14.7	156	(30)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	23.1	152	(36)
	あまりない	22.4	157	(27)
	時々	39.2	152	(27)
	頻繁にある	11.4	142	(31)
	ほぼ常時	3.9	129	(42)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア (続き)

	受験者割合 (%)	ライティング	
		平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	65.9	150 (32)
	6 カ月未満	16.8	150 (30)
	6 カ月～12 カ月	6.3	154 (28)
	1 年～2 年	3.8	157 (29)
	2 年超	7.2	162 (28)
英語圏滞在目的	進学のため	27.7	159 (29)
	英語学習プログラム参加のため	20.0	153 (25)
	旅行のため	20.5	148 (31)
	仕事のため	21.8	153 (30)
	その他	10.0	156 (32)
TOEIC S&W 受験回数	なし	68.5	151 (32)
	1 回	15.7	152 (30)
	2 回	6.1	148 (31)
	3 回以上	9.7	149 (29)
TOEIC S&W 受験目的	就職活動のため	30.5	151 (32)
	昇進・昇格のため	12.2	144 (30)
	英語学習プログラムの結果を測るため	8.7	151 (32)
	英語学習のため	25.9	152 (30)
	卒業に必要なため	22.3	152 (32)
	ビザ取得のため	0.3	129 (47)

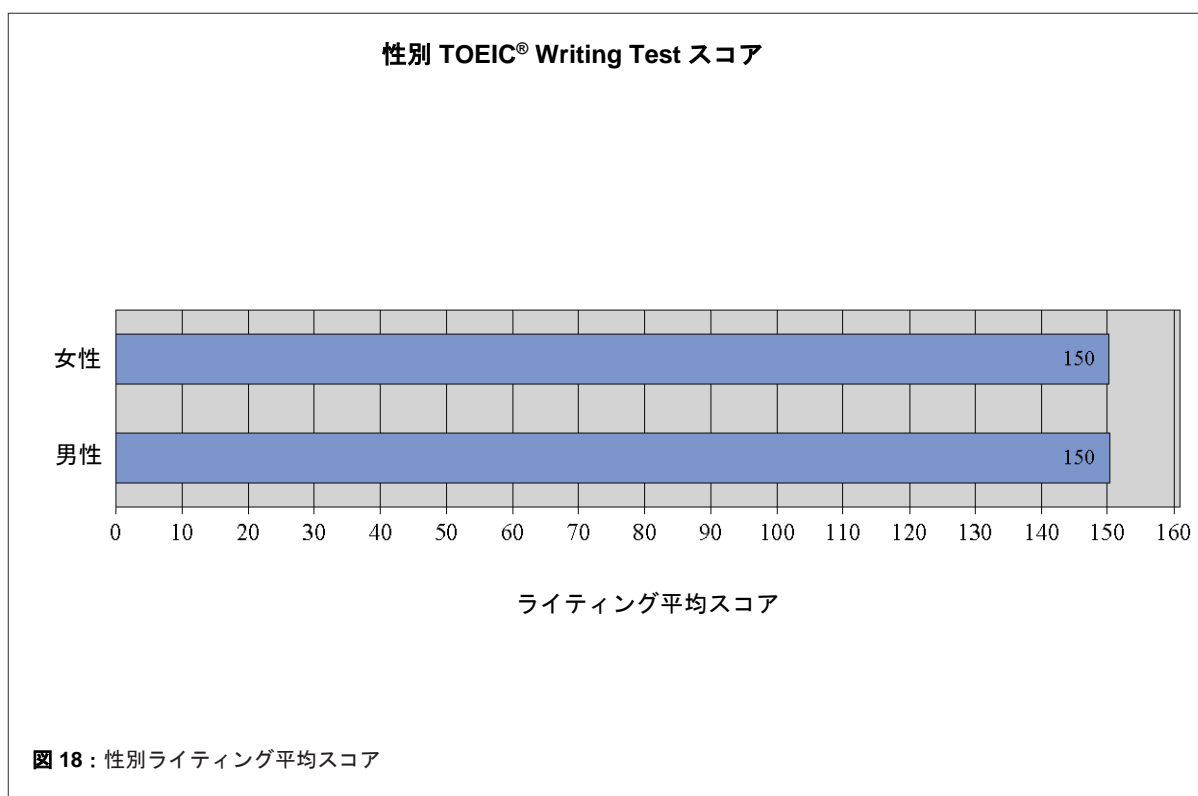
*SD=標準偏差

性別

全体として、TOEIC® Writing Test の受験者の性別の割合は、男性（48%）よりも女性（52%）が高くなっています（表 4 参照）。男性の割合が高い国として、米国では 84%、アルゼンチンでは 63%、中国では 61%、韓国では 56%でした。一方、女性受験者の割合が高い国として、イスラエルとエルサルバドルでは女性が全体の

66%、ベトナムでは 63%、パナマでは 61%でした。受験者の大部分が性別として「その他」を選択した国もありました。

図 18 が示すように、男性と女性のライティングスコアの平均は同じでした。

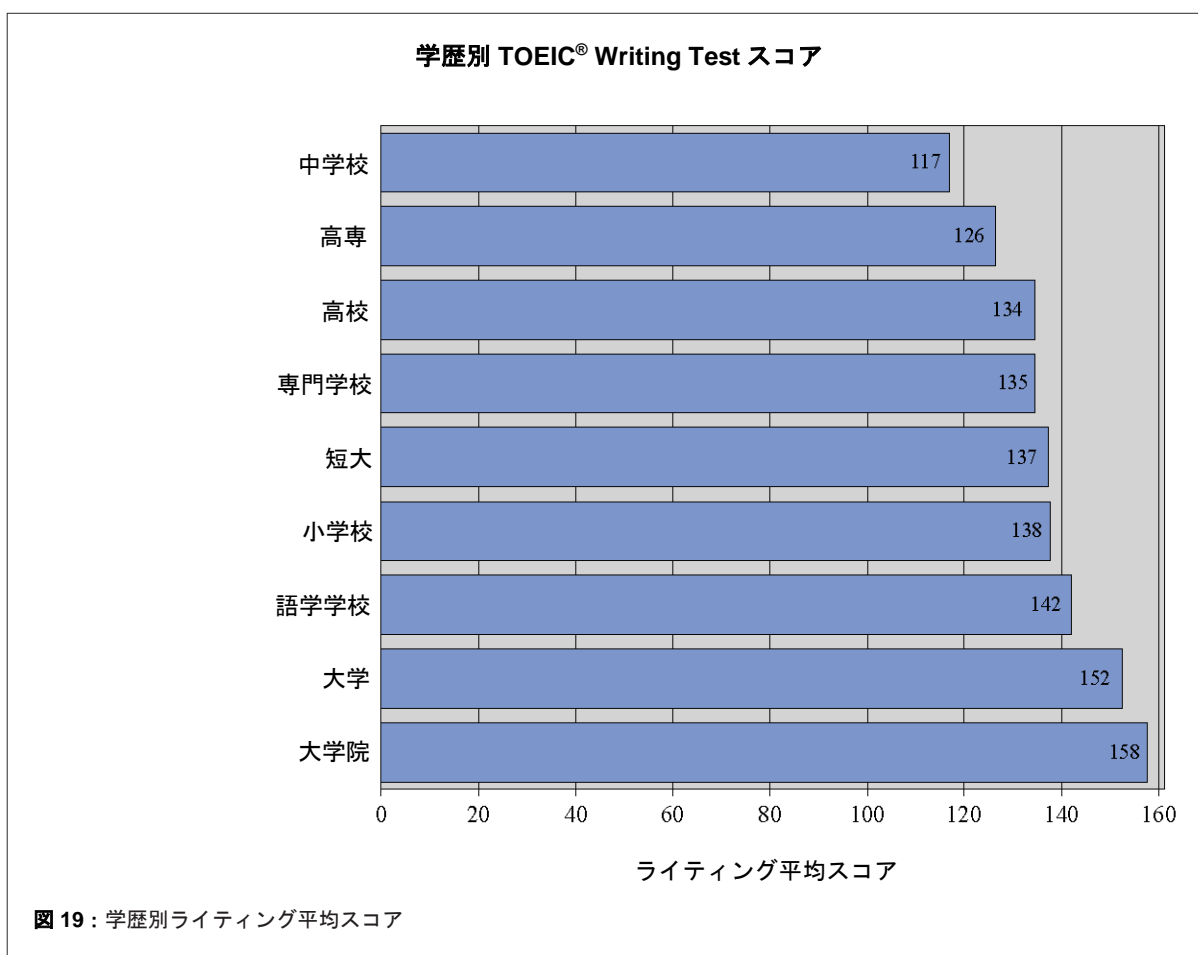


学歴

受験者の大半の学歴は、バックグラウンドアンケート回答時点で大学卒（学士取得）または大学在学中となっています（50%）。国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に国・地域別で比較することはできませんが、大学卒または大学在学中の受験者の割合が最も高い国は、フィリピン（73%）という結果になりました。それ以外に大学卒または大学在学中の受験者が多いのは、韓国（71%）、日本（59%）、台湾（54%）です。大学院卒また

は大学院在学中と答えた受験者が多い国としては、フランス（49%）とオランダ（44%）が挙げられます。一部の国では、小学校卒の受験者の割合が高くなりました。サウジアラビア（78%）、エルサルバドル（72%）、ベトナム（49%）、パナマ（43%）がその例です。

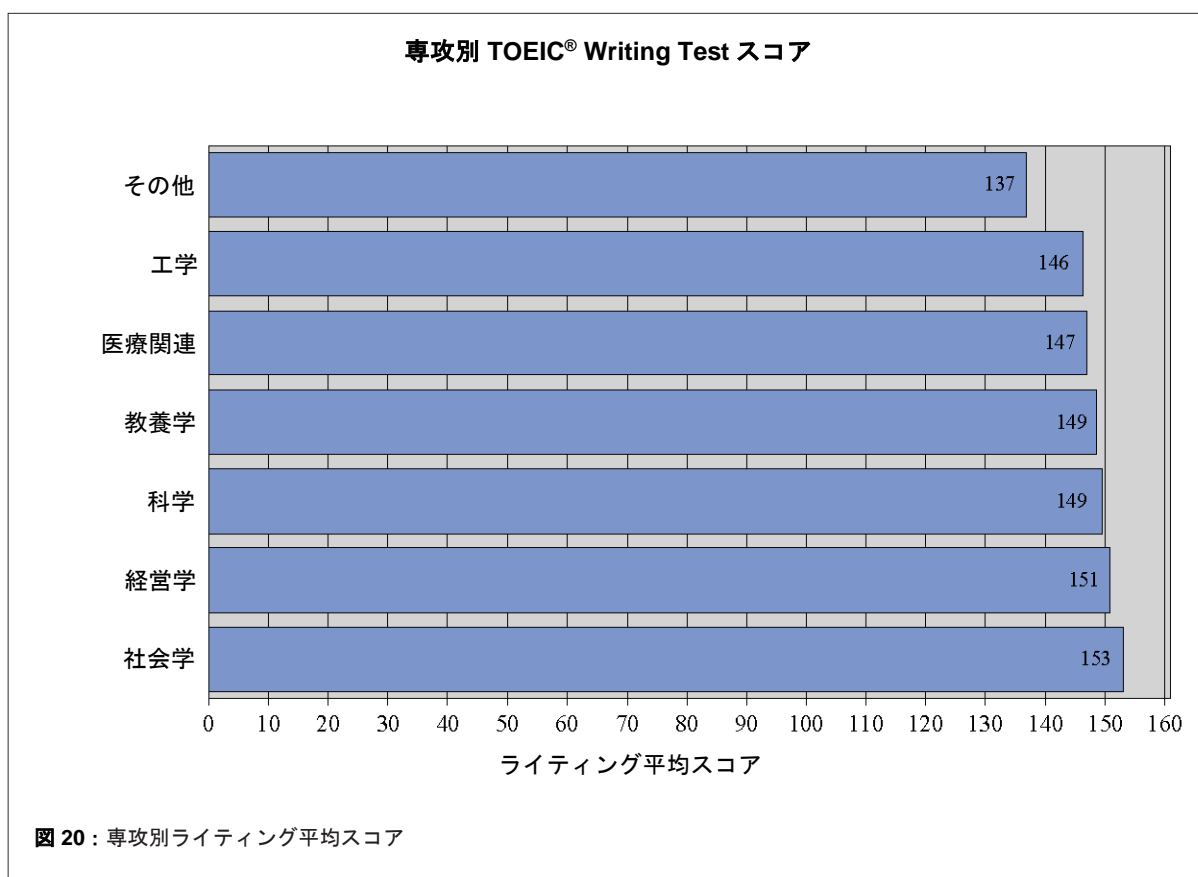
全体で見ると、大学・大学院卒または大学・大学院在学中の受験者の割合は、女性（62%）よりも男性（76%）の方が高くなっています。



専攻科目

全体として、受験者の専攻科目で最も多いのは「教養学」（34%）です。サウジアラビアとエルサルバドルでは、「教養学」専攻の受験者の割合がそれぞれ81%、71%に上ります。中国では、「工学」専攻の受験者が多数を占めました（44%）。チリでは、50%が「科学」専攻でした。

全体で見ると、「教養学」専攻の受験者の割合は男性（22%）よりも女性（45%）、「工学」専攻の割合は女性（5%）よりも男性（23%）の方が高くなっています。



就業状況

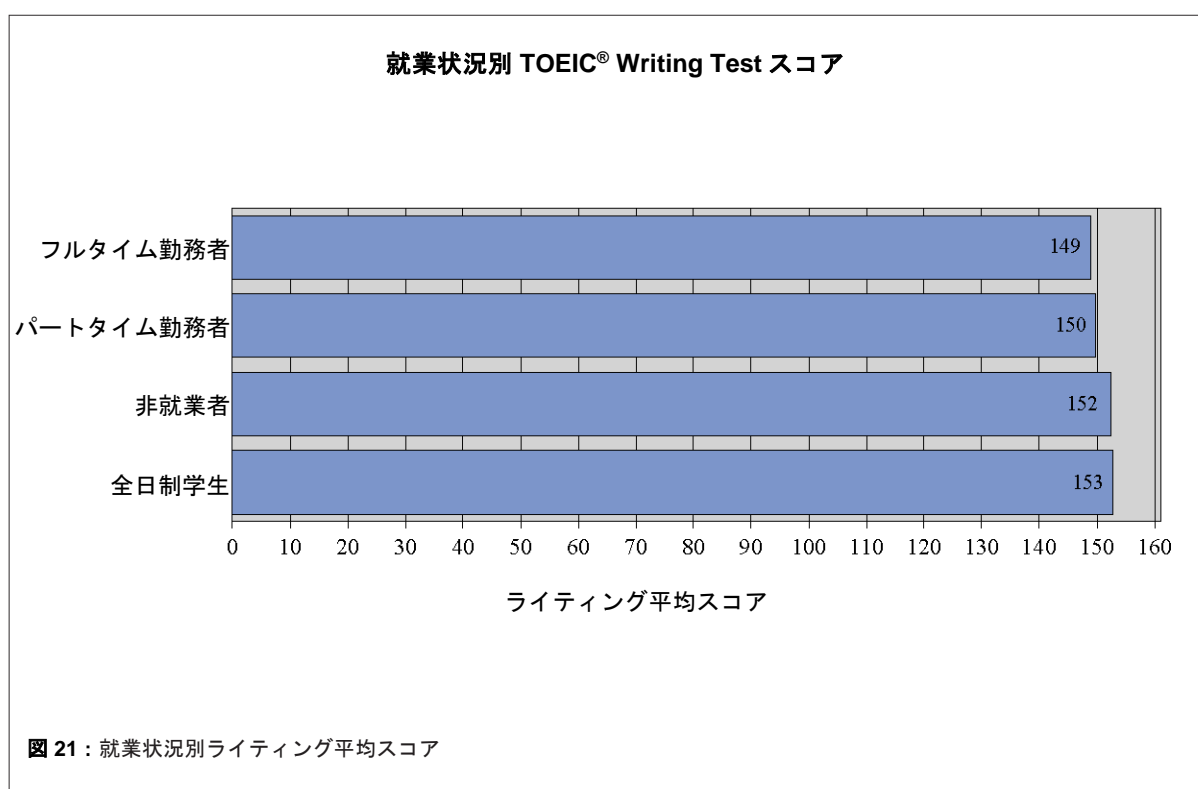
全体で見ると、TOEIC® Writing Test の受験者の多くが「フルタイム勤務者」でした（54%）。

「フルタイム勤務者」の割合が特に高い国としては、サウジアラビア（95%）、中国（94%）、メキシコ（90%）、米国（88%）、韓国（73%）などが挙げられます。

受験者の29%は「全日制学生」でした。「全日

制学生」が受験者の大半を占める国は、シンガポール（86%）とフィリピン（80%）です。

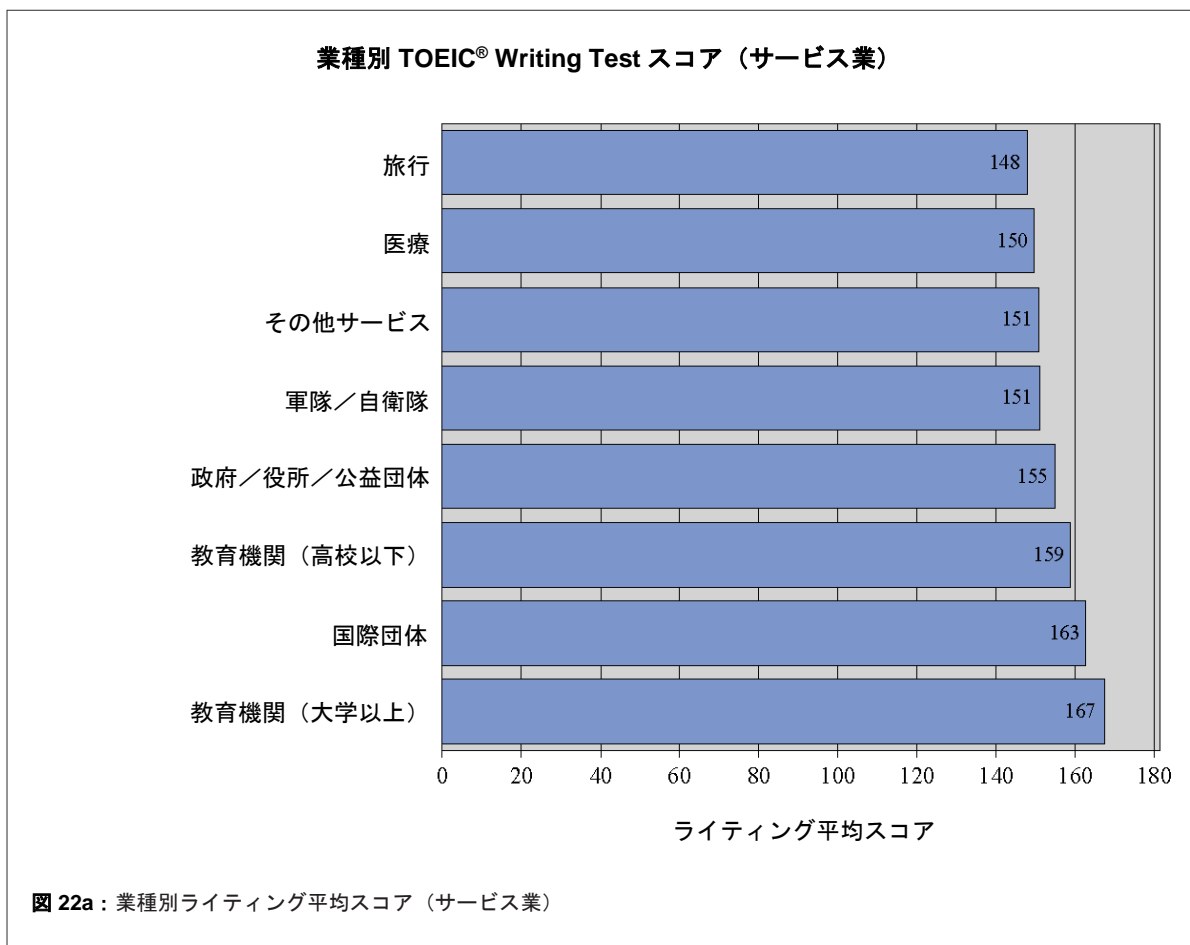
「フルタイム勤務者」の割合は女性（50%）よりも男性（59%）、「全日制学生」の割合は男性（26%）よりも女性（31%）の方が高くなっています。



業種

表 4に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「製造業」もしくは「サービス業」に従事しています。

図 22a（サービス業）、22b（製造業）、22c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® Writing Testの平均スコアを業種別に表したものです。



業種別 TOEIC® Writing Test スコア（製造業）

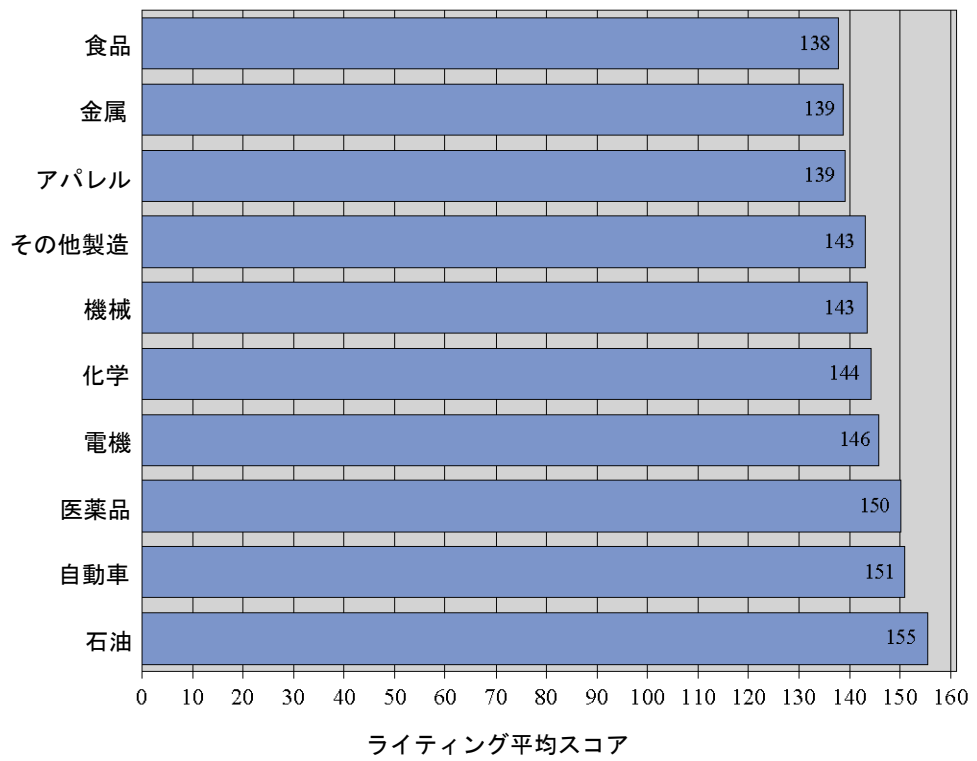


図 22b : 業種別ライティング平均スコア（製造業）

注：サンプル数が少ないため、業種「繊維」および「ガラス」の平均スコアについてはデータが得られませんでした。

業種別 TOEIC® Writing Test スコア（その他）

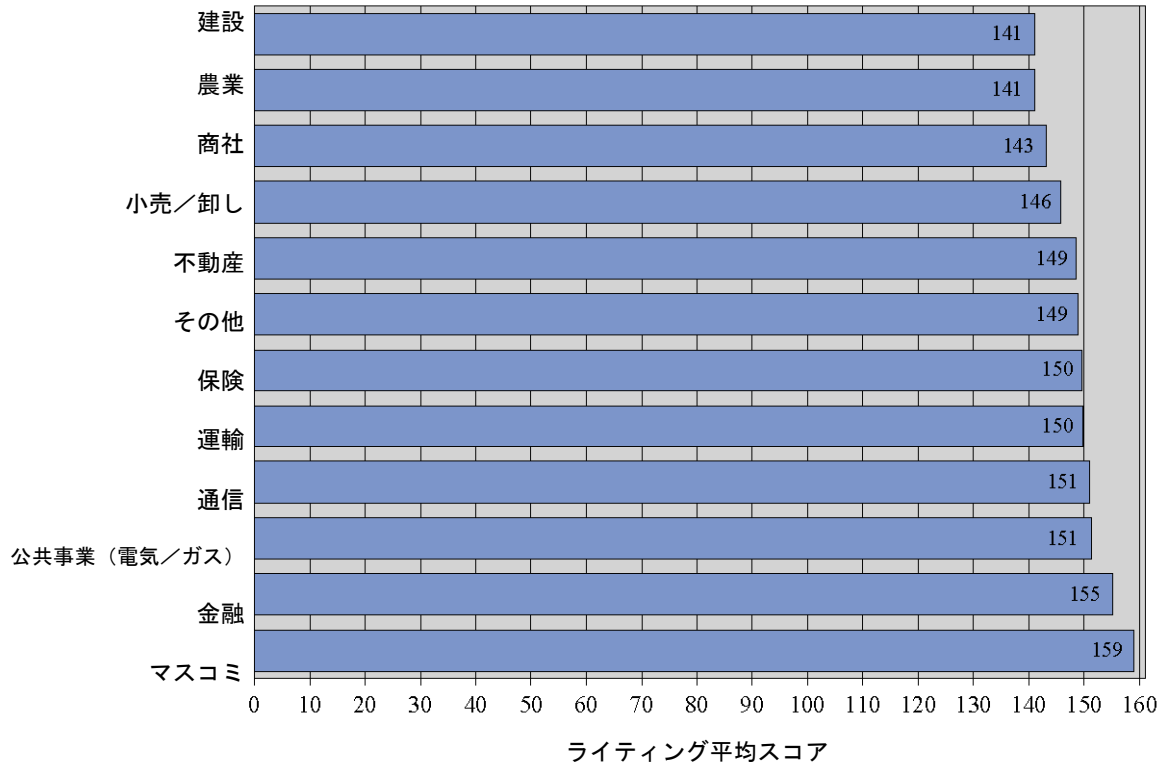


図 22c : 業種別ライティング平均スコア（その他）

職種

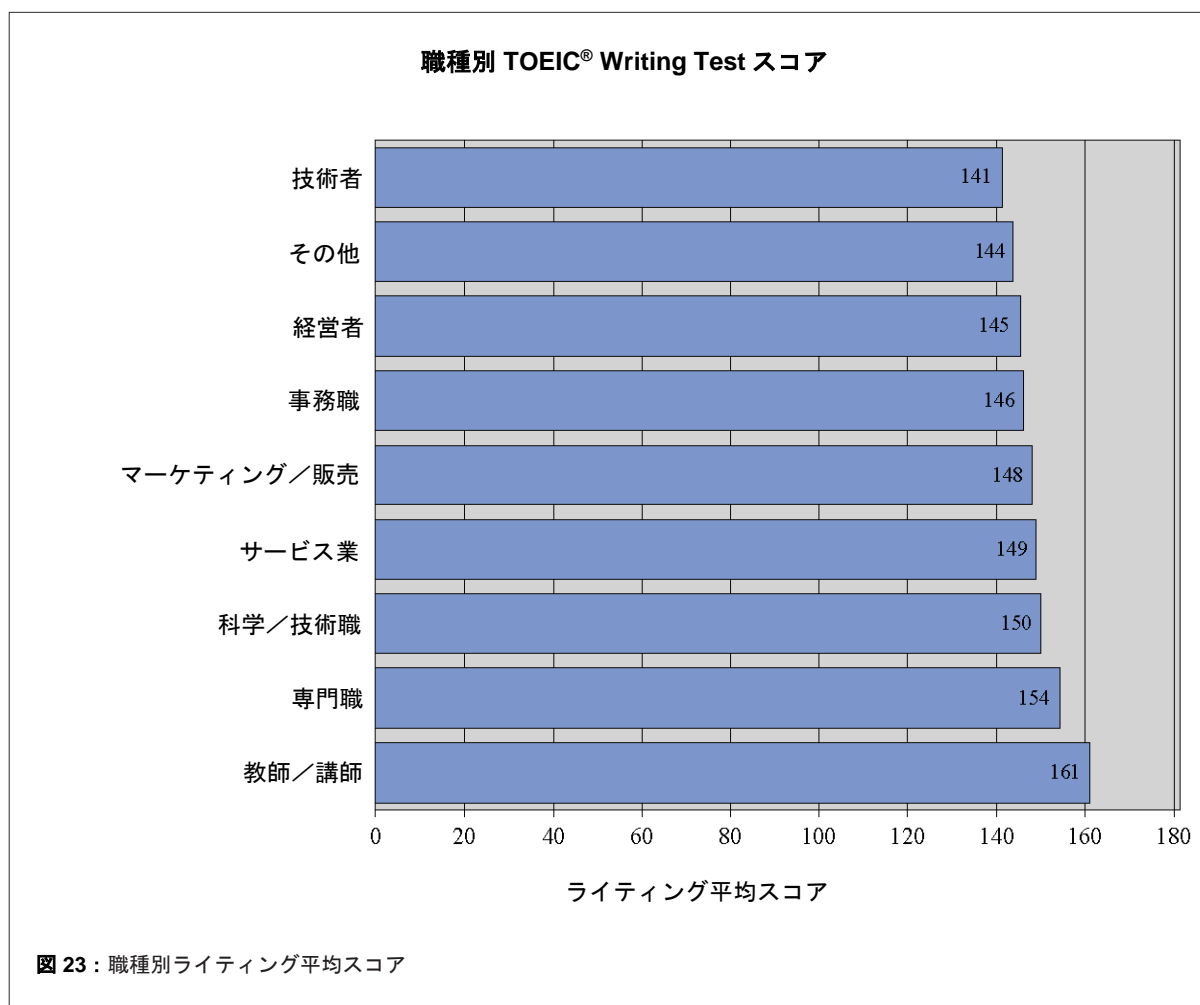
受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。受験者全体では、「経営者」(23%)、「科学／技術職」(15%)、「教師／講師」(12%)、「事務職」(12%)が上位を占めました。

「経営者」の割合が特に高い国としては、エルサルバドル(99%)、パナマ(99%)、サウジアラビア(98%)、ベトナム(72%)が挙げられます。

「事務職」の割合が高いのは韓国(36%)です。

「科学／技術職」の受験者が多いのはスペイン(30%)、米国(29%)、日本(26%)で、イスラエルでは受験者のほとんどが「教師／講師」に従事しています(93%)。

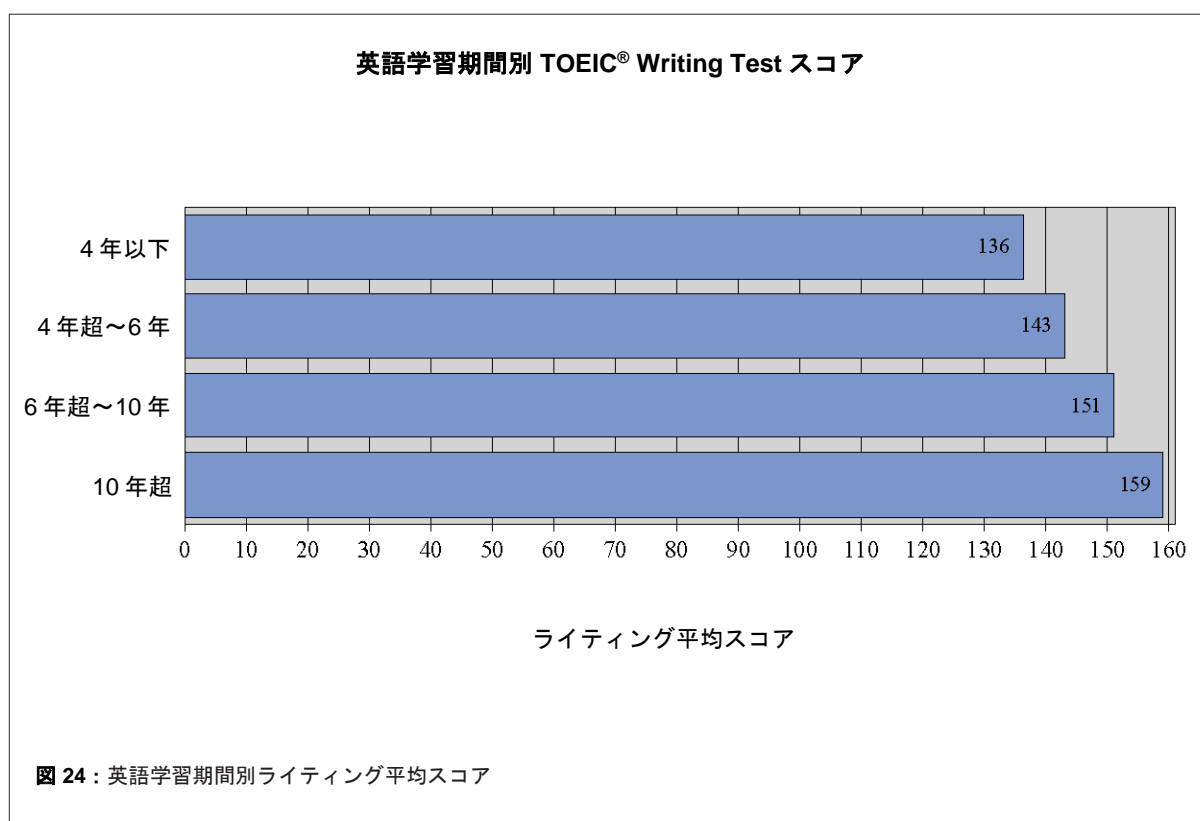
全体で見ると、「教師／講師」は女性(17%)の方が男性(8%)よりも多く、「経営者」も女性(25%)の方が男性(19%)よりも多くなっています。「科学／技術職」の割合は女性(8%)よりも男性(21%)の方が高い結果となりました。



英語学習期間

2022年の受験者全体の68%は、6年を超える英語学習経験があると答えています。ただし、「4年以下」という回答が多い国もありました。エ

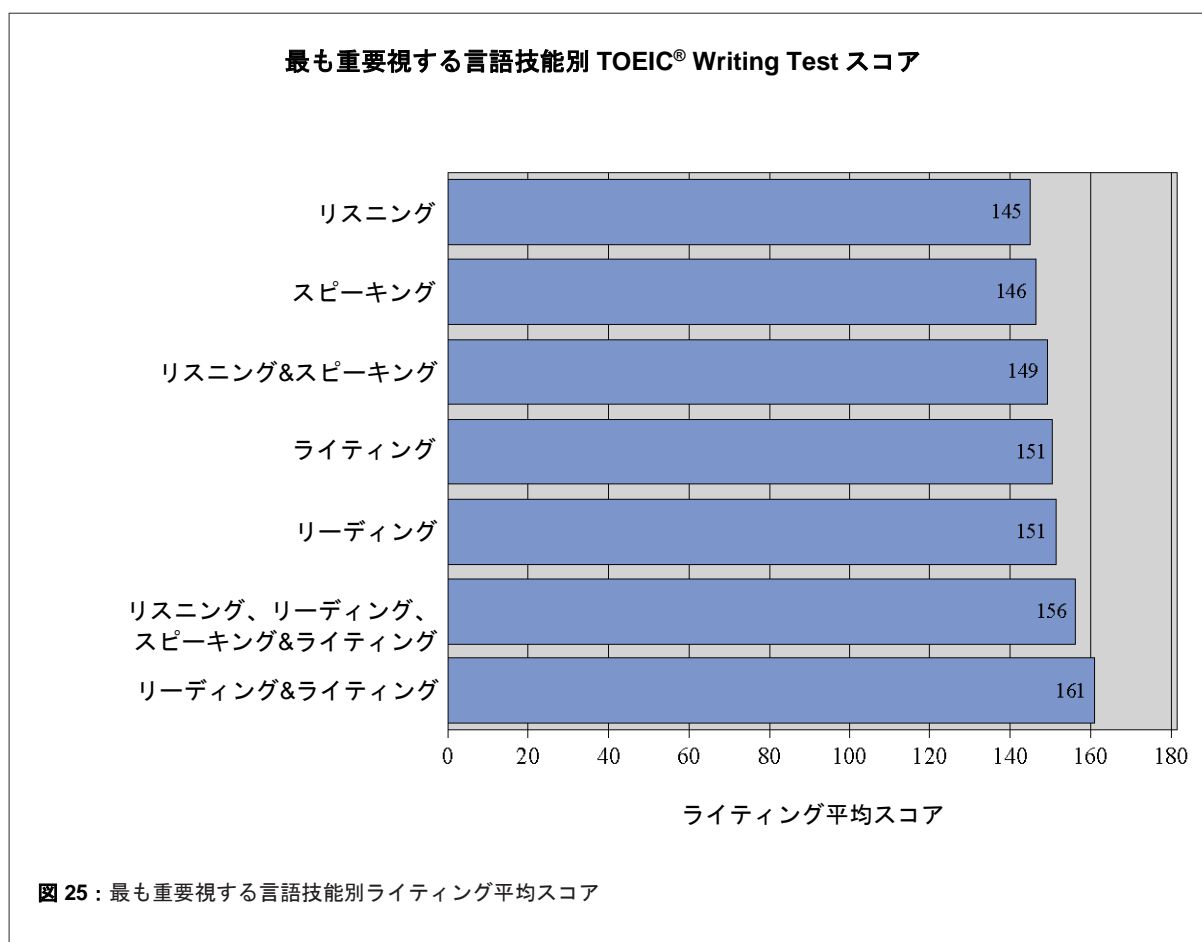
ルサルバドル（98%）、サウジアラビア（97%）、パナマ（95%）、ベトナム（65%）、米国（56%）です。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の30%は、英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答しました。

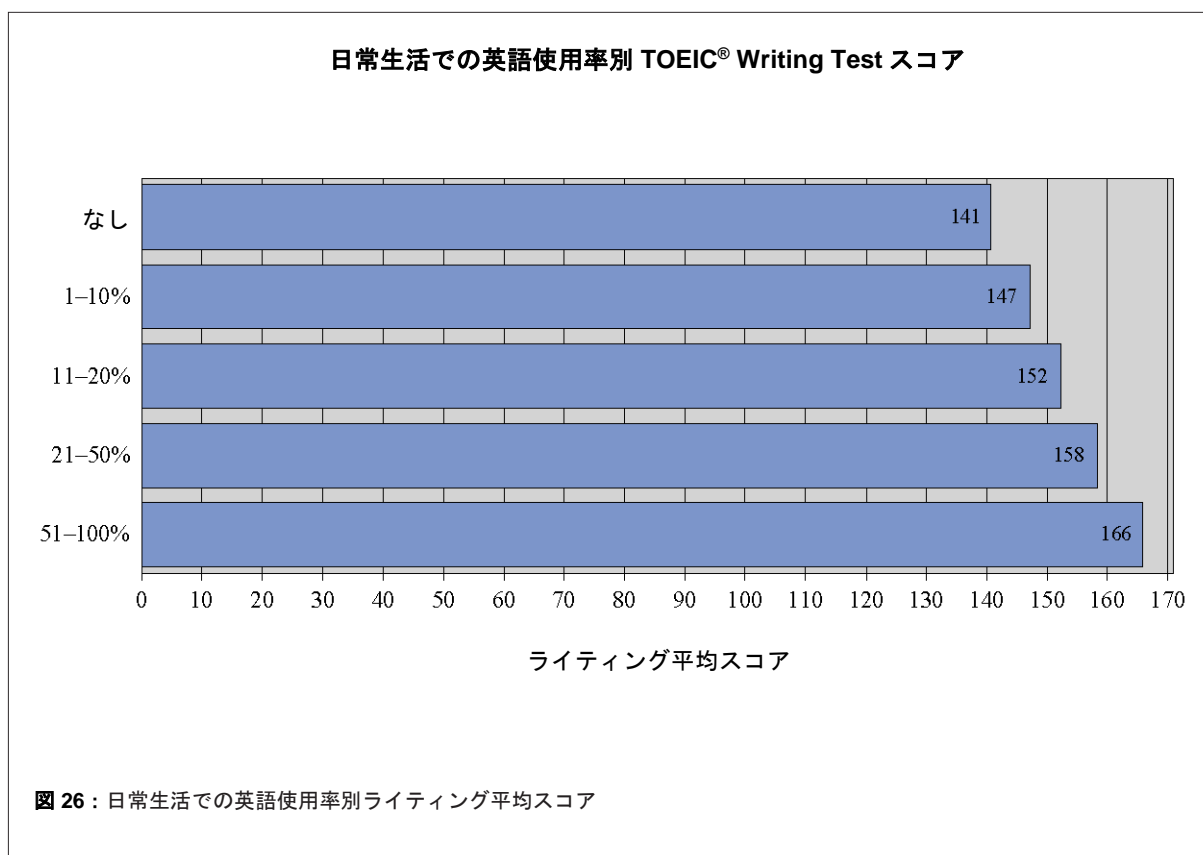
韓国では59%の受験者が英語学習の際に4技能すべてを重要視すると回答しました。これに対して、最も重要視する技能として「リスニング」を挙げた受験者が多い国は、サウジアラビア（91%）、エルサルバドル（72%）、ベトナム（64%）、パナマ（50%）となっています。



日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の30%が「1～10%」と回答しました。このように回答した受験者が多い国としては、シンガポール（50%）、中国（43%）、日本（40%）などが挙げられます。

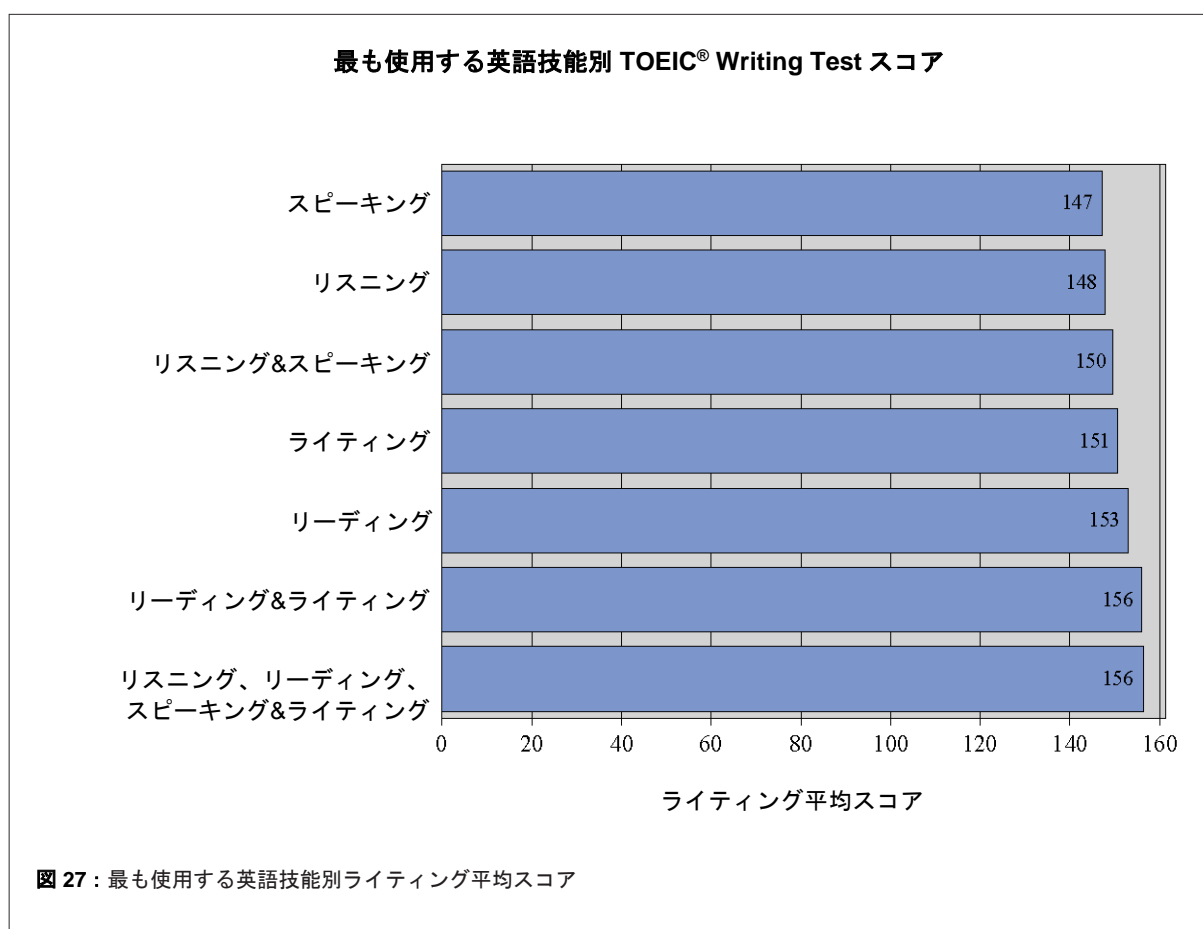
日常生活で英語を使用しないという回答が大半を占めたのは、サウジアラビア（90%）、エルサルバドル（72%）、ベトナム（55%）です。「51～100%」の割合で英語を使用するという回答の割合が高かったのは、イスラエル（42%）、米国（35%）となっています。



最も使用する言語能力

受験者全体の30%が、最も使用する英語技能として「リスニング」を挙げました。「リスニング」を選んだ受験者の割合が特に高い国は、サウジアラビア（93%）、エルサルバドル（80%）、ベトナム（65%）、パナマ（53%）、日本（38%）です。受験者全体の22%は、最も使用する技能として「リーディング」を挙げています。「リーディング」を選ん

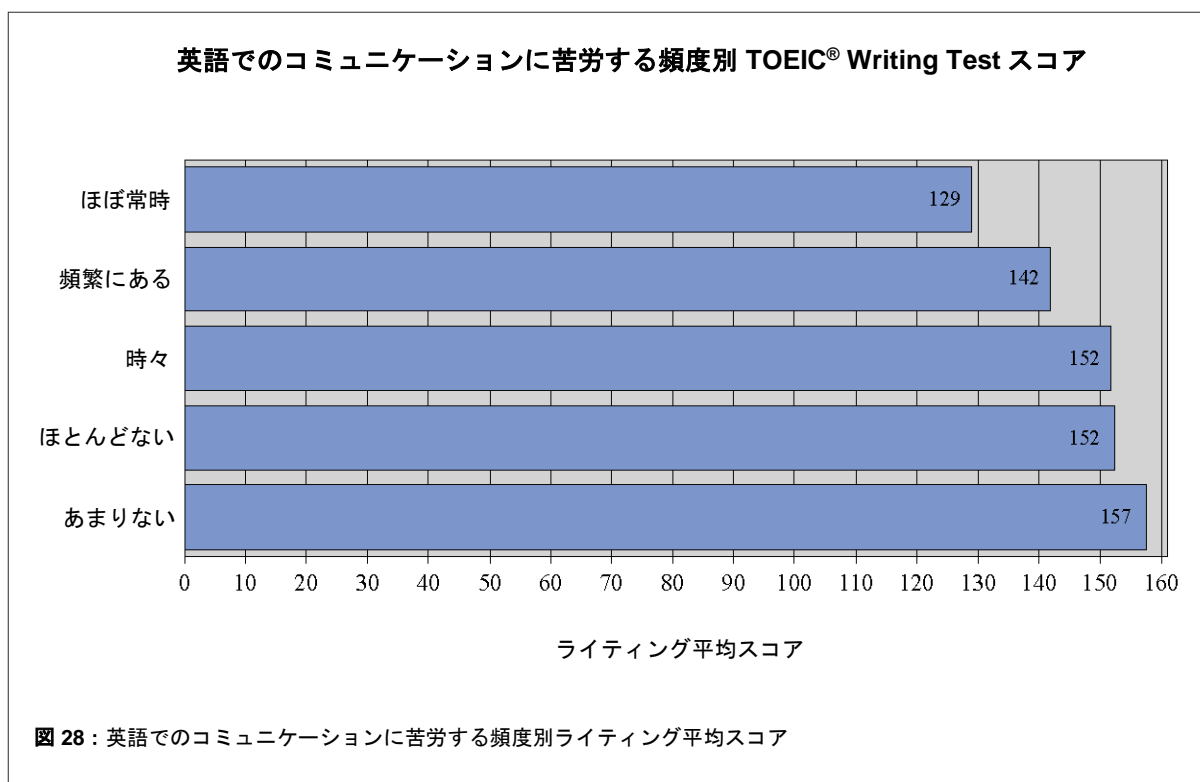
だ受験者が多い国・地域は、台湾（35%）、中国（34%）、スペイン（30%）などです。4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を使用していると回答した受験者の割合は全体の15%でした。韓国では、4技能すべてを頻繁に使用していると答えた受験者が多数を占めています（29%）。



英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の39%が「時々」、22%が「あまりない」、23%が「ほとんどない」と答えました。

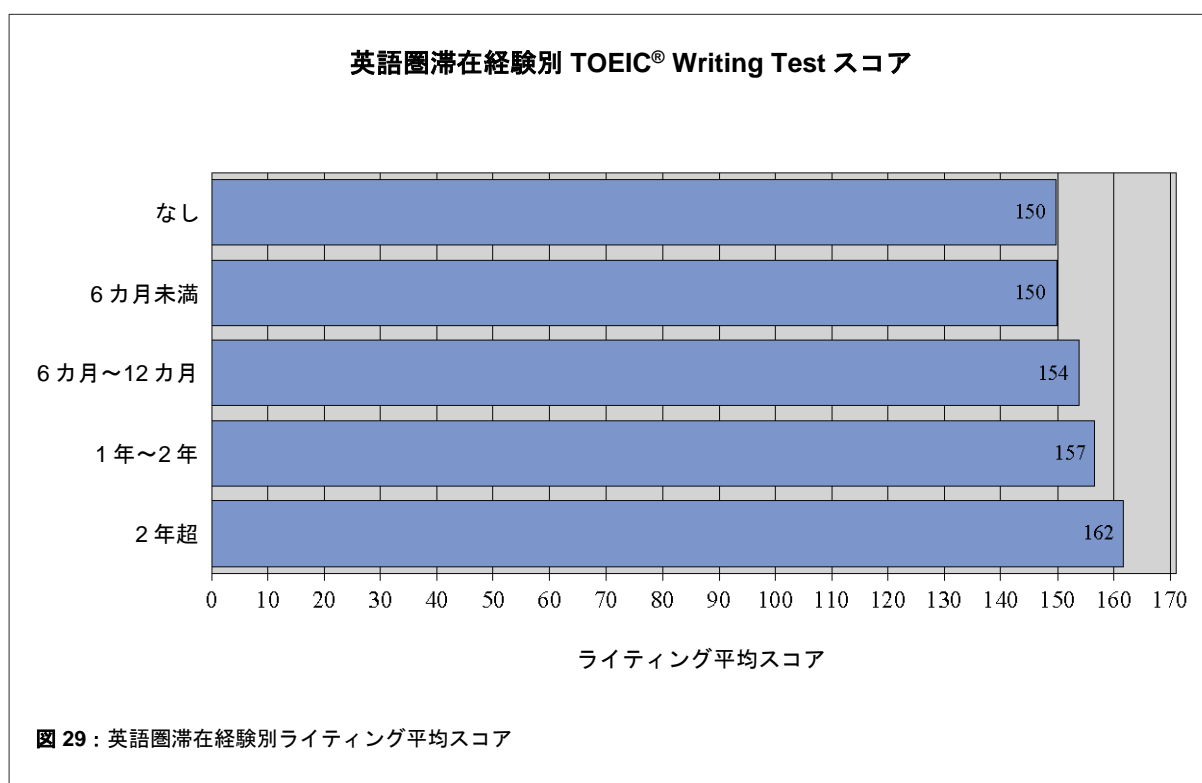
「ほとんどない」という回答が大部分を占めた国は、サウジアラビア（97%）、エルサルバドル（74%）、イスラエル（69%）、ベトナム（59%）、パナマ（50%）、チリ（50%）です。



英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか」という質問に対しては、6カ月以上の滞在経験があると回答した受験者の割合は全体の17%にとどまり、66%は滞在経験がないと答えています。

2年超の滞在経験があると答えた受験者が特に多い国は、米国（54%）とシンガポール（48%）などです。



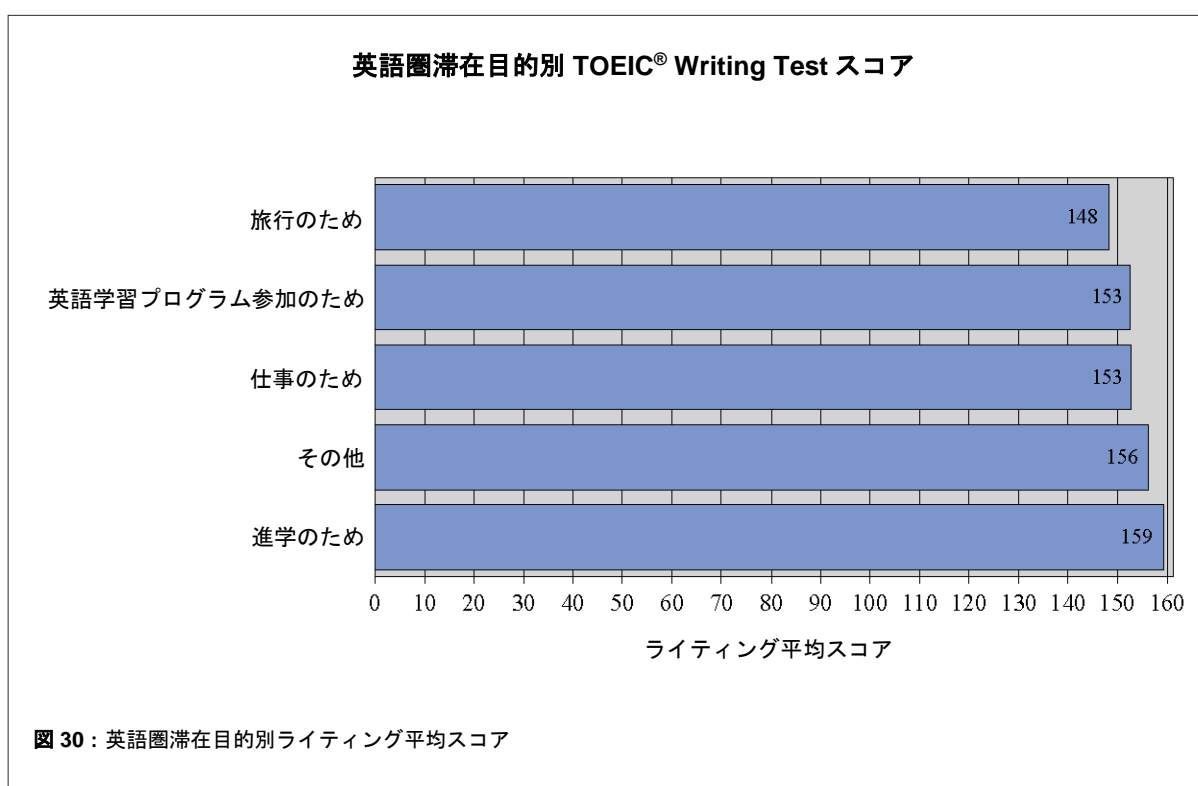
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、48%の受験者が「進学のため」もしくは「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

パナマとシンガポールでは、「進学のため」という回答がそれぞれ 67%と 47%を占めています。「旅行のため」という回答が多かったのはフィリピン（50%）です。「仕事のため」とい

う回答が特に多かったのは、サウジアラビア（100%）と米国（74%）でした。

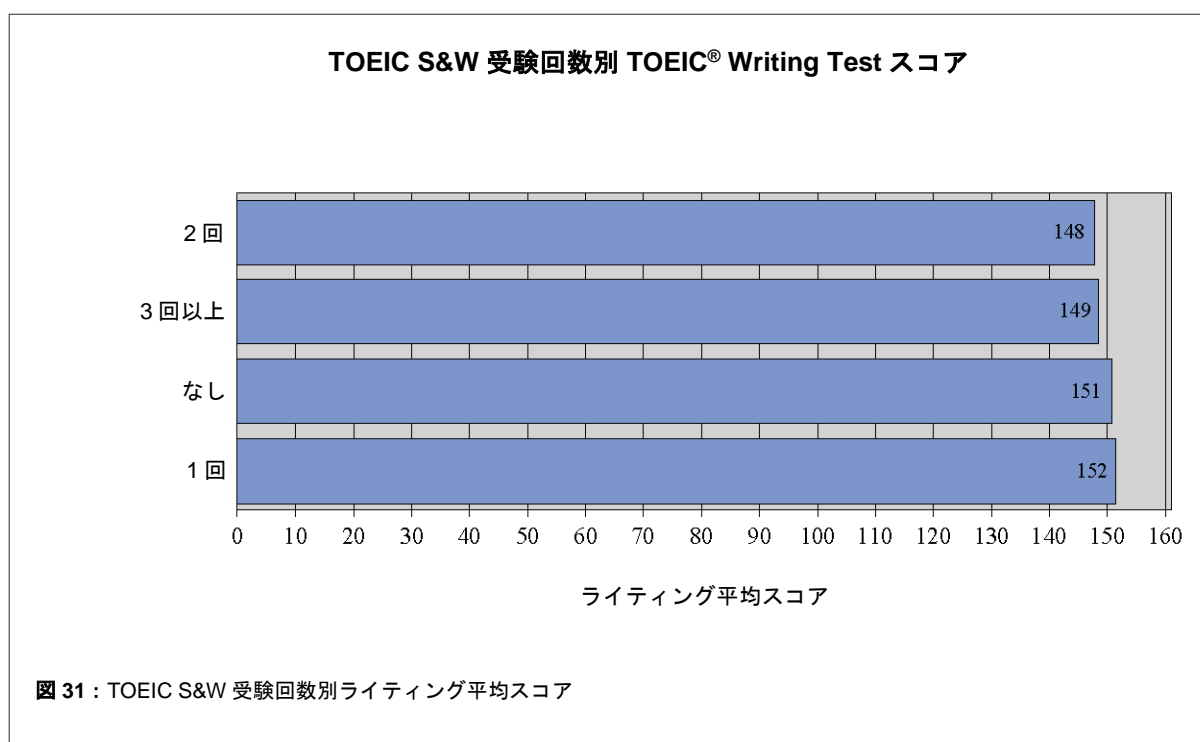
全体で見ると、「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は男性（17%）よりも女性（24%）、「仕事のため」の割合は女性（15%）よりも男性（28%）の方が高くなっています。



TOEIC® Writing Test の受験経験

TOEIC® Writing Test 受験経験者の割合については、下はエルサルバドル（0.4%）から上は韓国（57%）まで、国によって大きく差が出ました。

全体で見ると、TOEIC® Writing Test の受験経験がないと答えた受験者の割合は、男性（64%）よりも女性（71%）の方が高くなっています。これに対して、過去に「3回以上」受験したことがあると答えた受験者の割合は、女性（7%）よりも男性（13%）の方が高くなっています。

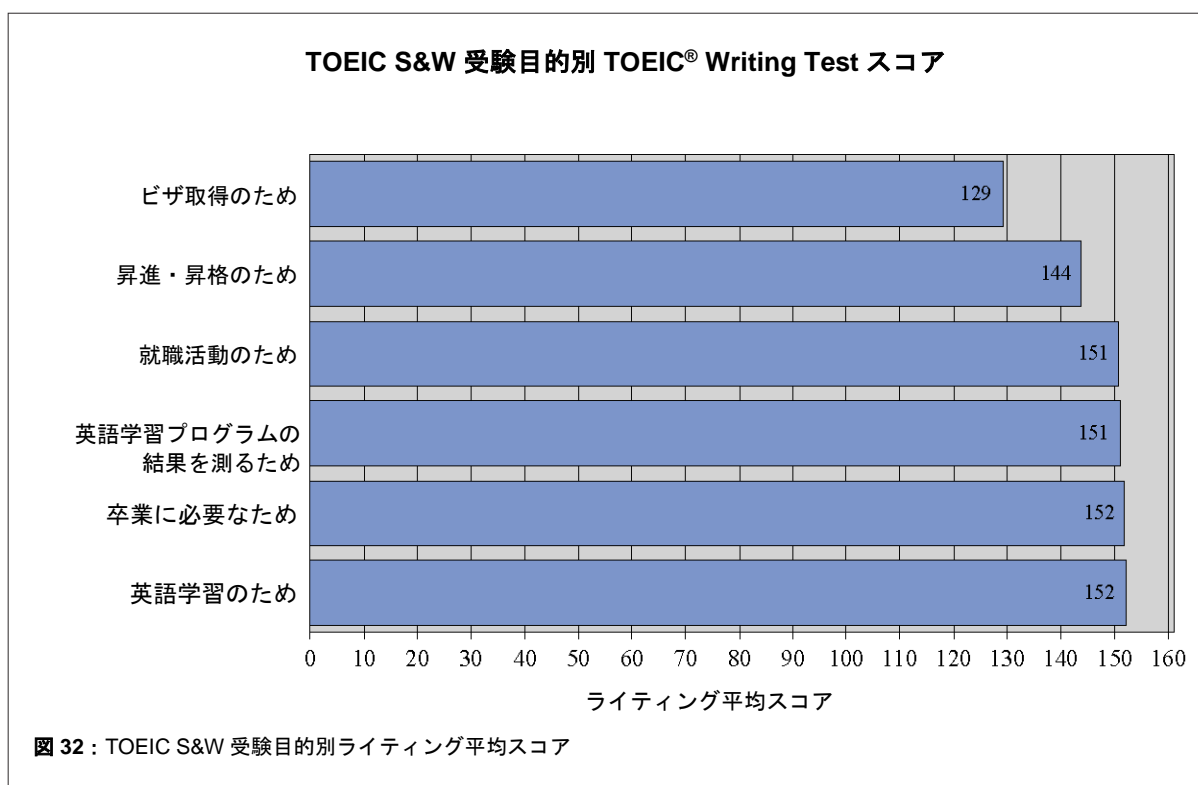


TOEIC® Writing Test の受験目的

TOEIC® Writing Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」(31%)、「英語学習のため」(26%)、「卒業に必要なため」(22%)です。「昇進・昇格のため」と回答した受験者が多い国としては、メキシコ(43%)と韓国(42%)、「就職活動のため」という回答が多い国としては、サウジアラビア(97%)、エルサルバドル(72%)、ベトナム(66%)、ブラジル(65%)が挙げられます。

日本では、「英語学習のため」と答えた受験者が51%を占めました。

「昇進・昇格のため」と答えた受験者の割合は女性(10%)よりも男性(15%)の方が高く、「就職活動のため」と答えた割合は男性(29%)よりも女性(32%)の方が高くなっています。



スピーキングスコアとライティングスコアの関連性

TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の相関値は、両方のテストを受けた受験者のデータに基づく計算によると、約 0.78 でした(資料 C に、地域別のスピーキング&ライティングの相関値を掲載)。これは 2 つの評価尺度の間に中程度の相関関係があることを示していま

す。TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test はいずれもビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定するものですが、これらのテストはそれぞれ別個の語学技能を測定します。

資料 A



バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

セクション I.

学歴／職歴

- 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
 - 小学校
 - 中学校
 - 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
 - 専門学校／高専
 - 専門学校／高専（高校卒業後）
 - コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
 - 大学（学士号）
 - 大学院（修士号または博士号）
 - 語学学校
- 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。（カッコ内記載の科目は例）
 - 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
 - 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
 - 会計／経営／経済
 - 財務／マーケティング／貿易
 - 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
 - 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
 - 工学／建築
 - その他／なし
- 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
 - フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
 - パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
 - 無職（質問 6 へ）
 - 全日制学生（質問 6 へ）
- 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。
 - 農業／漁業／林業／鉱業
 - 建築／ビル設計
 - 製造 - 食品
 - 製造 - 薬品
 - 製造 - 化学
 - 製造 - 繊維／紙
 - 製造 - 石油／原油／ゴム
 - 製造 - 鋼鉄／その他金属
 - 製造 - 機械／精密機械
 - 製造 - 電機
 - 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
 - 製造 - セメント／ガラス
 - 製造 - 衣服
 - 製造 - その他
 - サービス - 教育（高校レベル以下）
 - サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
 - サービス - 裁判／法規／地方／県
 - サービス - 外務
 - サービス - 軍隊／自衛隊
 - サービス - 保健／病院／医療研究
 - サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
 - サービス - その他
 - 公共事業（電気／水）
 - 放送／マスメディア
 - 通信
 - 小売／卸売
 - 商社
 - 会計／銀行／財務／セキュリティ
 - 保険
 - 不動産
 - 運輸
 - その他
- 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。（カッコ内記載の職種は例）
 - 経営者（役員、管理職、理事）
 - 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
 - 教師／講師
 - 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

Copyright © 2022 by ETS. All rights reserved. ETS, the ETS Logo, and TOEIC are registered trademarks of ETS in the United States.

資料 A (続き)



バックグラウンドアンケート - ページ 2

- E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
- F. マーケティング／販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
- G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
- H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
- I. その他

セクション II.

英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
- A. 4 年以下
 - B. 4～6 年
 - C. 6～10 年
 - D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
- A. なし
 - B. 1～10%
 - C. 11～20%
 - D. 21～50%
 - E. 51～100%
9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
- A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

10. 英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか。
- A. ほとんどない
 - B. あまりない
 - C. 時々
 - D. 頻繁にある
 - E. ほぼ常時
11. 英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか。
- A. なし（質問 13 へ）
 - B. 6 カ月未満
 - C. 6 カ月～12 カ月
 - D. 1 年～2 年
 - E. 2 年超～
12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。
- A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
 - B. 英語学習プログラム参加のため
 - C. 旅行のため（仕事に無関係）
 - D. 仕事のため
 - E. その他

セクション III.

TOEIC® S&W 受験経験

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC® S&W を受験しましたか。
- A. なし
 - B. 1 回
 - C. 2 回
 - D. 3 回以上
14. 今回の TOEIC® S&W の主な受験目的は何ですか。
- A. 就職活動のため
 - B. 昇進・昇格のため
 - C. 英語学習プログラムの結果を測るため
 - D. 将来の学習ニーズを知るため
 - E. 学習中のコース卒業のため
 - F. ビザ取得のため

資料 B1

2022 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	83%
2. 専攻科目	83%
3. 就業状況	88%
4. 業種	99%
5. 職種	99%
6. 英語学習期間	87%
7. 最も重要視する言語技能	87%
8. 日常生活での英語使用率	87%
9. 最も使用する英語技能	87%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	87%
11. 英語圏滞在期間	87%
12. 英語圏滞在目的	100%
13. TOEIC S&W 受験回数	88%
14. TOEIC S&W 受験目的	88%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 B2

2022 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	52%
2. 専攻科目	52%
3. 就業状況	64%
4. 業種	98%
5. 職種	97%
6. 英語学習期間	60%
7. 最も重要視する言語技能	60%
8. 日常生活での英語使用率	60%
9. 最も使用する英語技能	60%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	60%
11. 英語圏滞在期間	60%
12. 英語圏滞在目的	99%
13. TOEIC S&W 受験回数	64%
14. TOEIC S&W 受験目的	64%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 C

地域別スピーキング・ライティングスコアの相関値

地域	相関値
アジア	0.77
ヨーロッパ	0.67
北米	0.84
南米	0.79



+



www.ets.org